

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党田原市議団 中神靖典	経理 責任者	古川美栄			
旅行期間	平成31年4月24日	泊 1日	視察代表	古川美栄			
旅行先	ホテルアソシア豊橋 (〒440-0075 豊橋市花田町西宿)						
宿泊地							
視察・研修 等目的	平成31年4月東愛知サロン会特別例会						
行程	渥美線 徒歩 三河田原駅 ⇄ 新豊橋駅 ⇄ 会場						
経路	旅 費						
三河田原⇄新豊橋	1,040円(520円×2)	鉄道賃		1	0	4	0
研修費	10,000円	車賃					
		航空賃					
		船賃					
		日当					
		宿泊料					
		研修費		1	0	0	0
		合計		1	1	0	4

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	古川美栄
--------------------	------

領収書金額	10,000円
-------	---------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

<h2>領収書</h2> <h1>¥10,000</h1> <p>平成31年4月東愛知サロン会特別例会参加料</p> <p>平成31年4月24日</p> <p>〒441-8666 愛知県豊橋市新栄町鳥塚6-2番地 株式会社東愛知新聞社</p> <p>TEL 0532-32-3111 FAX 0532-32-3115</p>
--

視察・研修等報告書

2019年 4月 24日

田原市議会議長 殿

会派名自民党田原市議団

議員名古川美栄

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	中神靖 典	経 理 責任者	古川美栄
期 間	平成 31年 4月 24日(水)～平成 年 月 日()			
視 察 ・ 研 修 等 先	平成31年4月東愛知サロン会特別例会			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	内外の時局を聞く			
視 察 先 等 面 会 者	自民党幹事長代行、前内閣官房副長官 萩生田光一氏			
概 要 及 び 所 見	<p>自治体には指定管理者制度の導入で技術者がいなくなってしまう、職員に色々な国家資格を取得して貰い、臨機応変な体制で臨めば経費の削減になる。</p> <p>地方創生とは地方地元にあった事業、税の使い方をする、地方にも責任がある。若年層へもつとこの地域では車の魅力をアピール発信すべきである。国はオリンピックにおいてODAをもつとアピールすべきであるなど、</p> <p>国の方向、地方のやるべき事を指南していただいた。</p>			

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党田原市議団 中神靖典	経 理 責任者	古川美栄		
旅行期間	平成31年4月24日	泊 1日	視察代表	大竹正章		
旅行先	ホテルアソシア豊橋 (〒440-0075 豊橋市花田町西宿)					
宿泊地						
視察・研修 等 目 的	平成31年4月東愛知サロン会特別例会					
行 程	渥美線 徒歩 やぐま台駅 ⇄ 新豊橋駅 ⇄ 会場					
経路	旅 費					
やぐま台⇄新豊橋 840円(420円×2)	鉄道賃			8	4	0
研修費 10,000円	車 賃					
	航空賃					
	船 賃					
	日 当					
	宿泊料					
	研修費		1	0	0	0
	合 計		1	0	8	4

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

政務活動費領収書等貼付用紙

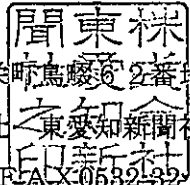
(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	大竹正幸
--------------------	------

領収書金額	10,000 円
-------	----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

<h2>領収書</h2> <h1>¥10,000</h1>
平成31年4月東愛知サロン会特別例会参加料
平成31年4月24日
〒441-8666 愛知県豊橋市新栄町鳥塚6-2番地 株式会社 東愛知新聞社
TEL 0532-32-3111 FAX 0532-32-3115



視察・研修等報告書

平成31年4月30日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 大竹 正章

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	中神 靖典	経理 責任者	古川美栄
期 間	平成31年 4月24日 (水)			
視察・研修 等先	●東愛知サロン会特別例会 ホテルアソシア豊橋 (〒440-0075 愛知県豊橋市花田町西宿)			
視察・研修 等の目的	【講演】国内外の情勢 自由民主党幹事長代行 萩生田光一			
視察先等 面会者				
概要及び所見	<p>【講演】</p> <p>萩生田氏は、消費増税延期を容認するような自身の発言をメディアに抜き取られた直後の講演でもあり。予め、メディアを会場に居ないことを主催者に確認（主催者は東愛知新聞社）している。と冗談を交えて切り出した。発言は、足元の経済、消費動向に最新の注意を払って進める必要を再確認する必要を示したと言う。以前、萩生田氏の予算委員会での質問を見たが詳細な分析から、現場の声、利害関係者の相関関係等を調整しながら行政の仕組みを的確に指摘する。今回の講演でも、地方行政における専門的な人材不足に強く警鐘しており、国としても地方へ交付税措置をする（今年度から）とし、地方への波及が待たれる。但し、普通交付税措置であれば、本市としては嬉しくない状況である。</p>			

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党田原市議員団 中神靖典	経理 責任者	古川美栄		
旅行期間	令和元年10月4日	泊 1日	視察代表	中神靖典		
旅行先	時事通信ホール (〒104-8178 東京都中央区銀座5-15-8)					
宿泊地						
視察・研修 等目的	時事通信社自治体地域交通セミナー 地域交通のイノベーション (MaaS構築のために)					
行程	<p style="text-align: center;"> <small>渥美線</small> <small>新幹線</small> <small>京急本線及び都営浅草線</small> <small>徒歩</small> 三河田原駅 ⇄ 豊橋駅 ⇄ 品川駅 ⇄ 東銀座駅 ⇄ 会場 </p>					
経路 三河田原⇄新豊橋 1,040円 (520円×2) (渥美線往復) 豊橋⇄品川 18,200円 (9,100円×2) (新幹線指定席往復 286.8km) 品川⇄東銀座 720円 (360円×2) (京急本線 140円×2、都営浅草線 220円×2) 日当 2,000円×1日	旅 費					
	鉄道賃	1	9	9	6	0
	車賃					
	航空賃					
	船賃					
	日当		2	0	0	0
	宿泊料					
	研修費					
	合計	2	1	9	6	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

時事通信社自治体地域交通セミナー 令和元年10月4日(金)
地域交通のイノベーション (MaaS構築のために) 中神靖典

基調講演1 地域公共交通におけるイノベーション

国土交通省 大臣官房公共交通・物流政策審議官 瓦林康人

地域公共交通を取り巻く状況は、人口は減少し続けていく、地方では自家用車依存度が高い、公共交通がなくなると生活できなくなるのではという高齢者の不安、高齢運転者の交通事故対策、輸送人員の大幅な減少により路線バス事業者の全国の7割が赤字、運転手不足の深刻化などの多くの課題がある。地域交通には、モビリティの維持・確保・改善、新たな技術の社会実装、計画的なまちづくりとの連携が求められている。新たなモビリティサービスの動きでは、スマホアプリにより、複数の公共交通等を最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行う MaaS(Mobility as a Service)や新モビリティサービスの推進、また地方都市型や観光地型の MaaS の実証実験も進められている。

基調講演2 MaaS が変える地域の姿

(地域課題の解決に資するみちのりグループの取り組み)

株式会社みちのりホールディングス代表取締役グループ CEO 松本順

バス需要は、高齢者・公共交通利用者・インバウンドの増加に伴う国内移動人口・高齢者の免許返納などにより増加している。しかし高校生の減少や運転手不足の深刻化により、生産性の向上が不可欠な状況にある。MaaS の活用や AI オンデマンドバスによる運転手不足対策が検討されている。スペインのバルセロナでは、自由ルート化することでバス停数の増加可能、利便性向上により利用者数が増加するなどの効果が上がった導入事例もある。常陸太田市では、混合乗り入れしていたバスを路線バスに統合した。貨客混載(ヒトものバス)の活用も進めている。MaaS や自動運転の新しいモビリティサービスの探索やこれまでのオペレーションの深化により、生産性の向上を図り地域経済の発展への貢献をすることが重要である。

特別講演 広島市の地域公共交通再編に向けた取り組み

広島市長 松井一實

利用者にとってやりやすくなり使いやすい持続可能な公共交通体系の構築を目指し、バス路線の再編や郊外路線のフィーダー化を推進している。海外からの来訪者にわかりやすい公共交通、広域都市圏としての公共交通体系の広島型 MaaS を目指す。

講演 自治体・地域との協働による持続的な交通ネットワークの構築

福島交通株式会社 代表取締役社長 武藤泰典

OD データの収集と見える化と利用実態の把握により、持続的な交通ネットワークを構築

する。供給サイドの取り組みは、網形成計画策定、利用環境の改善、ラストマイル対応、環境・エネルギー対応を進める。需要サイドへの働きかけは、多様なニーズを吸収、高齢者の利用促進、知ってもらおう活動、分かりやすさの追求、クロスセクター効果の測定を進める。

パネルディスカッション 地域公共交通の近未来（ネットワーク再編、事業者間連携、交通手段の一元化、新しいテクノロジーの活用）

コーディネーター 福島大学経済経営学類准教授 吉田 樹

パネラー ポストンコンサルティンググループシニアパートナー&マネージング・ディレクター（交通政策審議会委員） 秋池玲子
国土交通省 総合政策局 交通政策課長 倉持京治
八戸市都市整備部次長兼都市政策課長 畠山 智
茨城交通株式会社 代表取締役社長 任田 正史

国は日本版 MaaS の実現に向けて、データ連携の環境整備、制度の見直し、駅から駅ではなく「door to door」で考える、交通結節点・道路も見直し、地域ごとにビジネスモデルを考え、進める。茨城交通では、少子高齢化・過疎化が進み、路線バス網維持には自治体との協調と新たなテクノロジーの導入が不可欠であり、会社の統合、路線バス網の再編を進めた。アンケート等を利用し消費者目線の運賃値下げ、高齢者の買物ツアー、通学定期券の出張販売、高速バスを活用した貨客混載事業、自動運転への取り組みなど、新しい取り組みも進めている。八戸市も同様に、競合から共生に向けたバス事業者との連携を進めるとともに、利用者にわかりやすいように路線ナンバリングとバスルートカラーの設定、迷わずに乗れるカラーバス停の整備、上限運賃採用による運賃引き下げなどに取り組んだ。今回のセミナーでは、多くは競合する路線バス網の整備などにより、地域公共交通の再編を進めている。本市のように、1社に補助金を出し地域公共交通を維持しなくてはならない状況では、活用できるものは少ない。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党田原市議団 中神靖典	経理 責任者	古川美栄
旅行期間	令和元年10月4日	泊 1日	視察代表	大竹正章
旅行先	時事通信ホール (〒104-8178 東京都中央区銀座5-15-8)			
宿泊地				
視察・研修 等 目的	時事通信社自治体地域交通セミナー 地域交通のイノベーション (MaaS構築のために)			
行程	<p style="text-align: center;"> <small>渥美線 新幹線 京急本線及都営浅草線 徒歩</small> 三河田原駅 ⇄ 豊橋駅 ⇄ 品川駅 ⇄ 東銀座駅 ⇄ 会場 </p>			

経路	旅 費					
三河田原⇄新豊橋 1,040円 (520円×2) (渥美線往復)	鉄道賃	1	9	9	6	0
豊橋⇄品川 18,200円 (9,100円×2) (新幹線指定席往復 286.8km)	車 賃					
品川⇄東銀座 720円 (360円×2) (京急本線 140円×2、都営浅草線 220円×2)	航空賃					
日 当 2,000円×1日	船 賃					
	日 当		2	0	0	0
	宿泊料					
	研修費					
	合 計	2	1	9	6	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
経路及び旅費については、事務局にて記入。

視察・研修等報告書

令和1年10月17日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 大竹 正章

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	中神 靖典	経理 責任者	古川美栄
期 間	令和1年10月4日（金）			
視察・研修 等先	●地域交通のイノベーション～MaaS構築のために～ 時事通信ホール （〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8）			
視察・研修 等の目的	【基調講演1】地域公共交通におけるイノベーション 【事例講演2】MaaSが変える地域の姿 【特別講演】広島市の地域公共交通再編に向けた取組 【講演】自治体・地域との協同による持続的な交通ネットワ ークの構築 【パネルディスカッション】 「地域公共交通の近未来—ネットワーク再編、事業者間連 携、交通手段の一元化、新しいテクノロジーの活用」			
視察先等 面会者				

概要及び所見

【基調講演1】では、国土交通省公共交通・物流政策審議官瓦林氏による1. 地域公共交通を取巻く現状と課題2. 新たなモビリティサービスの動きとして大きく2項目を柱に講演された、内容では鉄道網がまあまあ充実してその他公共交通による補完が必要なそこそこの都市部か、過疎地でおよそ民間公共交通が無いに等しいような地域にマッチする話が多く本市の状況には大きく乖離していた。

【基調講演2】では、みちのりホールディングス CEO 松本氏からバス会社を再生させ、新たな公共交通サービスへと。最先端の仕組みを構築する手法、実例を交えて紹介があった。『需要が明らかになっている商売は伸びしろがある』と氏は考え意欲的な展開で事業を伸ばす松本氏は素晴らしいが需要の不十分な地域では供給のインセンティブは起きない。

【特別講演】では、広島市長松井氏から広島市の取組を紹介された。政令市モデルでは、僻地交通のフィーダー化なども充実しており単純に参考にならない。

【講演】では、福島交通の代表取締役武藤氏から計画と評価など大きな仕組みへの取組を紹介された。網形成計画の必要性と利用分析の自動化など新たな技術を投じている内容を聞いていると差の広がりが見られると感じる。

【パネルディスカッション】では、主に新テクノロジーへの対応や、考え方を中心に福島大学の吉田准教授によるコーディネートで進んだが、その前の講演で時間が押ししておりパネルも聴衆も消化不良であったと思う。茨城交通の代表取締役 任田氏が現場目線で指摘が多く飲み込み易い話では合ったが総じてパネルの多くは日本の地方に対する現状認識が偏っていると感じられた。自家用有償旅客運送など範囲を拡大して運用できる方法が最も今の田原市では効果が高そうであるが運用の拡大は望めそうにない。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自民党田原市議団 中神靖典	経 理 責任者	古川美栄			
旅行期間	令和元年10月21日 から 令和元年10月21日 まで	泊 1日	視察代表	村上 誠			
旅行先	TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター (〒104-8388 東京都中央区京橋1-7-1 戸田ビルディング)						
宿泊地							
視察・研修 等 目 的	元地方議員に学ぶ議会活動向上セミナー 「新人議員のための一般質問基礎講座」						
行 程	<p style="text-align: center;">渥美線 新幹線 徒歩</p> <p style="text-align: center;">豊島駅 ⇄ 豊橋駅 ⇄ 東京駅 ⇄ 会場</p>						
経路	旅 費						
豊島⇄新豊橋 940円(470円×2)	鉄道賃		1	9	1	4	0
豊橋⇄東京	車 賃						
(新幹線指定席往復) 18,200円(9,100円×2)	航空賃						
日当 2,000円×1日	船 賃						
研修費 15,000円	日 当		2	0	0	0	0
	宿泊料						
	研修費		1	5	0	0	0
	合 計		3	6	1	4	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
経路及び旅費については、事務局にて記入。

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	15,000 円
-------	----------

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領 収 証

自由民主党田原市議団
村上誠

様

2019年10月21日

★

¥15,000

但 10/21 14:00~「新人議員のための一般質問基礎講座」
研修会受講代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297

研修会報告書

氏名 自由民主党田原市議団 村上 誠

研修日	令和元年10月21日(月)
研修先	一般社団法人地方議員研究会
研修名	新人議員のための一般質問基礎講座
講師	麗澤大学地域連携センター 客員研究員 松野 豊
<p>《参考になった点》</p> <p>1 一般質問とは何か ・歴史を創ること 【注】 質問と質疑の違いを認識</p> <p>2 一般質問の目的は何か ・質問によって地域がよりよくなること 【注】 支援者等へのアピールではない</p> <p>3 質の高い質問とは ・誰のための質問か ・ 論点・争点が明確 ・ 問題の現状が把握できているか 【注】 ゴールをイメージすると問題・課題が見つかる</p> <p>《所感》 主な内容は以上の3点でした。議員として7か月経ち、一般質問を経験した。これまでを振り返ることで今回の研修を受講したが、たった3点だが重く受け止めた3点でした。このことを活かしながら一般質問をしていきたい。</p>	

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 中神靖典	経理 責任者	古川美栄			
旅行期間	令和元年10月29日から 令和元年10月31日まで	2泊 3日	視察代表	古川美栄			
旅行先	高知県高知市 高知ちばさんセンター (〒781-5101 高知県高知市布師田3992-2)						
宿泊地	ウェルカムホテル高知 (〒780-0842 高知県高知市追手筋1-8-25) ※旅行先近隣の宿泊施設の確保ができなかったため旅行先より遠方で確保						
視察・研修 等 目的	第14回全国市議会議長会研究フォーラム						
行程	10月29日(火) 前泊 10月30日(水) フォーラム参加 10月31日(木) フォーラム参加及び視察 詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃			3	5	4	0
	車賃			1	4	2	0
	航空賃		3	5	0	0	0
	日当			5	0	0	0
	宿泊料		1	6	0	0	0
	研修費		1	6	8	0	0
	合計		7	7	7	6	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

29日: 三河田原駅 ^{渥美線} → 豊橋駅 ^{JR東海道本線} → 名古屋駅 ^{徒歩} → 名古屋駅バス停 ^{あおい交通バス} → 名古屋空港バス停
^{徒歩} → 名古屋空港 ^{FDA(飛行機)} → 高知龍馬空港 ^{徒歩} → 高知龍馬空港バス停 ^{空港連絡バス} → 蓮池町通バス停 ^{徒歩} → ホテル

 30日: ホテル ^{徒歩} → 蓮池町通駅 ^{とさでん交通路面電車} → 高知駅前駅 ^{徒歩} → 高知駅 ^{シャトルバス} → 会場 ^{シャトルバス} → 高知駅
^{徒歩} → 高知駅前駅 ^{とさでん交通路面電車} → 蓮池町通駅 ^{徒歩} → ホテル

 31日: ホテル ^{徒歩} → 蓮池町通駅 ^{とさでん交通路面電車} → 高知駅前駅 ^{徒歩} → 高知駅 ^{シャトルバス} → 会場 ^{シャトルバス} → 高知駅 →
^{視察バス} 視察参加 → 高知龍馬空港 ^{FDA(飛行機)} → 名古屋空港 ^{議長公用タクシー} → 名古屋駅 ^{JR東海道本線} → 豊橋駅 ^{渥美線} → 三河田原駅

経路

* 10月30日当日出発では、午後1時からの研修に間に合わないため、前泊とする。
 * 10月31日の視察に参加した場合、電車では31日中に帰れないため、航空機を利用する。

29日

三河田原駅 → 新豊橋駅(渥美線)	520円 (電)
豊橋駅 → 名古屋駅(JR東海道本線)往復カルテットきっぷ	1,900円 (電)
名古屋駅前バス停 → 名古屋空港バス停(あおい交通バス)	700円 (車)
名古屋空港 → 高知龍馬空港(ツアー料金: FDA)	18,000円 (航)
高知龍馬空港バス停 → 蓮池町通バス停(空港連絡バス)	720円 (車)

30日

蓮池町通駅 → 高知駅前駅(とさでん交通路面電車)	200円 (電)
高知駅 → 高知ぢばさんセンター (シャトルバス)	
高知ぢばさんセンター → 高知駅 (シャトルバス)	
高知駅前駅 → 蓮池町通駅(とさでん交通路面電車)	200円 (電)

31日

蓮池町通駅 → 高知駅前駅(とさでん交通路面電車)	200円 (電)
高知駅 → 高知ぢばさんセンター (シャトルバス)	
高知ぢばさんセンター → 高知駅 (シャトルバス)	
高知駅 → 高知龍馬空港 (視察バス)	
高知龍馬空港 → 名古屋空港(ツアー料金: FDA)	17,000円 (航)
名古屋空港 → 名古屋駅(議長公用タクシー) ✓	
名古屋駅 → 豊橋駅(JR東海道本線)往復カルテット切符	
新豊橋駅 → 三河田原駅(渥美線)	520円 (電)
日当(2,000円×2日、滞在1,000円×1日)	5,000円
宿泊費(ツアー料金: 8,000円×2泊)	16,000円
研修費(フォーラム参加費 7,000円 + 視察 9,800円)	16,800円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	7,000	円
-------	-------	---

参加費領収書別紙

領収書 貼付用 紙No.	511美栄
--------------------	-------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

第14回全国市議会議長会研究フォーラム in 高知

令和元年11月11日

自由民主党田原市議団 古川美栄様

参加費領収書

第14回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 野 虎雄

東京都千代田区平河町2-4-2

金 7,000 円

第14回全国市議会議長会研究フォーラム in 高知

参加代として

令和元年10月30日・31日開催（高知市）

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	35,000 円
-------	----------

領収書 貼付用 紙No.	胡美栄
--------------------	-----

航空券代領収証別紙

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領 収 証

株式会社 JTB



登録番号

A No 045330

株式会社 JTB

高知支店
高知市堺町1-21
JTBビル3階 〒780-0834



自由民主党田原市議団 古川 美栄 様

期間: 2019年10月29日 ~ 2019年10月31日

下記の金額正に領収いたしました。

¥35,000-

2019年 12月 11日

出納責任者	取扱者

但し 第14回全国市議会議長会研究フォーラム

航空券代として(10/24ご入金)

ご入金内訳 (今回のご入金額)

※軽減税率対象

代金計 (①)		(税込)		うち消費税		
		¥ 35,000-		¥		
(10%対象		¥ 35,000-		¥)	
(※ 8%対象		¥		¥)	
(8%対象		¥		¥)	
(対象外		¥		¥)	
日付	項目	単価	利用数	金額	摘要	消費税率
10/29,31	航空券代	35,000	1	35,000		

収 入
印 紙

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	9,800 円
-------	---------

視察代領収証別紙

領収書 貼付用 紙No.	古川美栄
--------------------	------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領 収 証

株式会社 JTB



登録番号

A No 045328

株式会社 JTB

高知支店
高知市堺町1-21
JTBビル3階 〒780-0834



自由民主党 田原市議団 古川 美栄 様

期間：2019年10月29日～2019年10月31日

下記の金額正に領収いたしました。

¥9,800-

2019年12月11日

出納責任者	取扱者

但し 第14回全国市議会議長会研究フォーラム

視察代として(10/24ご入金)

ご入金内訳 (今回のご入金額)

※軽減税率対象

代金計 (①)		(税込)		うち消費税	
		¥ 9,800-		¥	
(10%対象		¥ 9,800-		¥)
(※ 8%対象		¥		¥)
(8%対象		¥		¥)
(対象外		¥		¥)

日付	項目	単価	利用数	金額	摘要	消費税率
10/31	視察代	9,800	1	9,800		

収 入
印 紙

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

視察・研修等報告書

令和元年 11月 5日

田原市議会議長 殿

会派名 自民市議団
議員名 古川美栄

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	中神靖 典	経理 責任者	古川美栄
期 間	平成元年10月29日(火)～平成元年10月31日(木)			
視察・研修 等先	第14回全国市議会議長会研究フォーラムIN高知			
視察・研修 等の目的	議会活性化のための船中八策 「議会改革ぜよ」			
視察先等 の 会 者	高知ぢばさんセンター 中島岳史(東京工業大学)坪井ゆづる(朝日新聞解説委員)田鍋剛(高知市議会議長)古川康造(高松丸亀町商店街振興組合理事長)など			
概要及び所見	<p>基調講演は中島岳史東京工業大院教授の「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」でした。横軸左にリベラル右にパターナルとし縦軸下にリスクの個人化上にリスクの社会化と位置図けています。右上に田中角栄、左上に大平正芳、中曽根康弘、橋本龍太郎、小渕恵三、森喜朗と続き小泉純一郎内閣で左下リスクの個人化へと一気に動いた、そして安倍内閣では右下価値の問題へと踏み込んできた。強い者が価値のあり方について介入することである。野党は過去の「革新」という考え方では支持が集まらない自民党が過去になんて気た「リベラルな保守」こそが重要な概念であるとゆう先生の主張であった。</p> <p>パネルディスカッションでは田鍋剛高知市議会議長が議会運営面で政策立案機能が強調されすぎである。議会は行政監視の機能が基本ではないか、決算の認否だけでなく、よく審査して何かをまとめて執行機関側に提案したらどうか。議会はチェック機能をしっかり果たすのが大事である。</p>			

古川康造氏の市民の目からすれば、議員の「苦しゅう無い、近こう寄れ」と言うのが相変わらず強いのかもしれないと言われたことが強く頭に残っています。

コーディネーターの坪井ゆづる氏は2日間にわたる討議の総括で「監視機能の強化」「次世代を見据えた議論」「データを踏まえた議論」「多様性の確保」「地方自治法96条1,2項の活用」「労働法制の見直し」「情報公開の徹底」「議員間の徹底議論」の八策を取りまとめました。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 中神靖典	経理 責任者	古川美栄			
旅行期間	令和元年10月29日から 令和元年10月31日まで	2泊 3日	視察代表	岡本禎稔			
旅行先	高知県高知市 高知ぢばさんセンター (〒781-5101 高知島県高知市布師田3992-2)						
宿泊地	ウェルカムホテル高知 (〒780-0842 高知県高知市追手筋1-8-25) ※旅行先近隣の宿泊施設の確保ができなかったため旅行先より遠方で確保						
視察・研修 等目的	第14回全国市議会議長会研究フォーラム						
行程	10月29日(火) 前泊 10月30日(水) フォーラム参加 10月31日(木) フォーラム参加及び視察 詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃			3	5	4	0
	車賃			2	1	2	0
	航空賃		3	5	0	0	0
	日当			5	0	0	0
	宿泊料		1	6	0	0	0
	研修費		1	6	8	0	0
	合計		7	8	4	6	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。

経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

29日：三河田原駅 ^{渥美線} → 豊橋駅 ^{JR東海道本線} → 名古屋駅 ^{徒歩} → 名古屋駅バス停 ^{あおい交通バス} → 名古屋空港バス停

^{徒歩} → 名古屋空港 ^{FDA(飛行機)} → 高知龍馬空港 ^{徒歩} → 高知龍馬空港バス停 ^{空港連絡バス} → 蓮池町通バス停 ^{徒歩} → ホテル

30日：ホテル ^{徒歩} → 蓮池町通駅 ^{とさでん交通路面電車} → 高知駅前駅 ^{徒歩} → 高知駅 ^{シャトルバス} → **会場** ^{シャトルバス} → 高知駅

^{徒歩} → 高知駅前駅 ^{とさでん交通路面電車} → 蓮池町通駅 ^{徒歩} → ホテル

31日：ホテル ^{徒歩} → 蓮池町通駅 ^{とさでん交通路面電車} → 高知駅前駅 ^{徒歩} → 高知駅 ^{シャトルバス} → **会場** ^{シャトルバス} → 高知駅 →

^{視察バス} **視察参加** → 高知龍馬空港 ^{FDA(飛行機)} → 名古屋空港 ^{徒歩} → 名古屋空港バス停 ^{あおい交通バス} → 名古屋駅バス停 ^{徒歩} → 名古屋駅

^{JR東海道本線} ^{渥美線}
→ 豊橋駅 → 三河田原駅

経路

- *10月30日当日出発では、午後1時からの研修に間に合わないため、前泊とする。
- *10月31日の視察に参加した場合、電車では31日中に帰れないため、航空機を利用する。

29日

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	520円(電)
豊橋駅→名古屋駅(JR東海道本線)往復カルテットきっぷ	1,900円(電)
名古屋駅前バス停→名古屋空港バス停(あおい交通バス)	700円(車)
名古屋空港→高知龍馬空港(ツアー料金:FDA)	18,000円(航)
高知龍馬空港バス停→蓮池町通バス停(空港連絡バス)	720円(車)

30日

蓮池町通駅→高知駅前駅(とさでん交通路面電車)	200円(電)
高知駅→高知ちばさんセンター(シャトルバス)	
高知ちばさんセンター→高知駅(シャトルバス)	
高知駅前駅→蓮池町通駅(とさでん交通路面電車)	200円(電)

31日

蓮池町通駅→高知駅前駅(とさでん交通路面電車)	200円(電)
高知駅→高知ちばさんセンター(シャトルバス)	
高知ちばさんセンター→高知駅(シャトルバス)	
高知駅→高知龍馬空港(視察バス)	
高知龍馬空港→名古屋空港(ツアー料金:FDA)	17,000円(航)
名古屋空港バス停→名古屋駅前バス停(あおい交通バス)	700円(車)
名古屋駅→豊橋駅(JR東海道本線)往復カルテット切符	
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	520円(電)
日当(2,000円×2日、滞在1,000円×1日)	5,000円
宿泊費(ツアー料金:8,000円×2泊)	16,000円
研修費(フォーラム参加費7,000円+視察9,800円)	16,800円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	7,000 円
-------	---------

参加費領収書別紙

領収書 貼付用 紙No.	岡本被後
--------------------	------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

第14回全国市議会議長会研究フォーラム in 高知

令和元年11月11日

自由民主党田原市議団 岡本禎稔様

参加費領収書

第14回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 野 尻 哲 雄

東京都千代田区平河町2-4-2

金 7,000 円

第14回全国市議会議長会研究フォーラム in 高知

参加代として

令和元年10月30日・31日開催（高知市）

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	35,000 円
-------	----------

航空券代領収証別紙

領収書 貼付用 紙No.	国本補給
--------------------	------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領 収 証

株式会社 JTB



登録番号

A No 045333

株式会社 JTB

高知支店

高知市堺町1-21

JTBビル3階 〒780-0834

自由民主党 田原市議員 岡本禎徳 様

期間: 2019年10月29日 ~ 2019年10月31日

下記の金額正に領収いたしました。

¥35,000-

但し 第14回全国市議会議長会研究フォーラム

航空券代として(1/24こ入金)

2019年12月11日

出納責任者	取扱者

ご入金内訳 (今回のご入金額)

※軽減税率対象

代金計 (①)		(税込)		うち消費税		
		¥ 35,000-		¥		
(10%対象		¥ 35,000-		¥)	
(※ 8%対象		¥		¥)	
(8%対象		¥		¥)	
(対象外		¥		¥)	
日付	項目	単価	利用数	金額	摘要	消費税率
10/29,31	航空券代	35,000	1	35,000		

収 入

印 紙

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	9,800 円
-------	---------

領収書 貼付用 紙No.	岡本被総
--------------------	------

視察代領収証別紙

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領 収 証

株式会社 JTB



登録番号

A No. 045331

株式会社 JTB
高知支店
高知市堺町1-21
JTBビル3階 〒780-0834



自由民主党田原市議団 岡本 禎穂 様

期間: 2019年10月29日 ~ 2019年10月31日

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 9,800-

2019年12月11日

出納責任者	取扱者

但し 第14回全国市議会議長会研究フォーラム

視察代として(10/24ご入金)

ご入金内訳 (今回のご入金額)

※軽減税率対象

代金計 (①)			(税込)		うち消費税	
		¥ 9,800-			¥	
(10%対象)		¥ 9,800-			¥)
(※ 8%対象)		¥			¥)
(8%対象)		¥			¥)
(対象外)		¥			¥)
日付	項目	単価	利用数	金額	摘要	消費税率
10/31	視察代	9,800	1	9,800		

収 入
印 紙

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

研修、視察報告書

田原市議会議長 殿

岡本 禎稔

全国市議会議長会」研究フォーラム

日時 令和元年10月30日(水)～31日(木)

場所 高知県高知ぢばさんセンター

基調講演 「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授 中島 岳志

政治のマトリクス

ラディカルデモクラシーとポピュリズム

リベラルの逆説

保守とは何か？

2017年10月、立憲民主党のフィーバーがあった。枝野氏を立て、「立憲民主党はあなたです」という物語を作り大成功をした。しかし、2018年8月以降12%の支持率が8%まで落ちた。これは新たな物語の欠如であった。

パネルディスカッション 「議員活性化のための船中八策」

コーディネーター

朝日新聞論説委員 坪井ゆづる

パネリスト

市町村職員中央研究所学長 高部正男

(株)コロラボ代表取締役/お茶の水女子大学客員准教授 横田響子

高松丸亀町商店街振興組合理事長 古川安蔵

高知市議会議長 田鍋剛

坪井ゆづる 「自治の主役にふさわしく」

議会は地方政治、自治の主役である。「議会活性化のための船中八策」
自治行政の視機能をどうやって高め、成果をあげてゆくか。

人口減少、外国人の増加、災害対策などなど、地域の将来を見据えた政策論議をすすめるために必要な視点とは、何か。

候補者男女均等法のもとで、「老老男男」の実態をどうかえられるのか。

規模の小さい議会で深刻化する「なりて不足問題」にどう対処するか。

住民の関心を高めるには、何をすべきか。

こうした諸問題を、じっくりと討議する必要がある

高部正男

市議会についての現状認識

市議会改革への取り組みの広がりとして、議会基本条例制定60.8%

議会報告会の開催53.7%

自治体議会について指摘される問題点

議会への無関心による選挙での投票率の低下

議員のなりて不足での無投票当選の増加

女性や若者の不参加による議員構成の偏り

議員の不祥事（政務活動費の不正使用等）

早急に検討すべき事項

地方選挙の統一兼職・兼業規制の弾力化

労働法制の見直し

議員の厚生年金への加入

横田響子

そもそも議会に必要なこと

20年後の住民は幸せかを考えて行くことが重要である。若手、女性の参加の効の街を巻き込んで、活性化する策を考える必要がある。

議会改革の具体的なアイデアとして、中長期視点で街の目指す方向を論議すること。今の課題・現状の人工減を前提として考えることが必要である。

経験の機会提供として、会議におけるところ。中長期戦略を検討する機会を作る。住民参加の事業仕分けを行う。参考人などを招致し、接触機会を増やす。

古川安蔵

高松丸亀町商店街の取り組み

高松丸亀町商店街は、江戸時代から400年以上の歴史を持つ商店街。街路のカラー舗装、アーケードの建設、各種イベント事業など、様々な取り組みを行ってきた。特に発展の契機となったのが、町営駐車場の建設である。今ほど自家用車が普及していない昭和47年、商店街運営の駐車場を整備した。現在では駐車事業が、様々な不採算事業（イベントホール、巡回バス、カード事業、各種イベント等）の資金源となっている。さらなる発展に向け、平成元年頃から再開発事業の検討を始めた。そして、平成18年12月、再開発ビル第一号となるA街区再開発ビルが竣工した。ここで実現した、「土地の使用と利用の分離」は、あとに続く再開発にも受け継がれている。

田鍋剛

高知市の概要（歴史文化）

中世から戦国期にかけて当時の土佐国の中心地として位置づけられ、長宗我部元親が拠点として白を築いた。関ヶ原の戦いの後、土佐に入国した山之内一豊が慶長年間に大高坂山に高知城を築き、歴代の藩主が城下町を形成して以来、土佐の政治、経済、文化の中心として発展してきた。

主な議会改革の取り組みが紹介されたが、参考になったものが3点あった。本会議開始の号令をベルから市歌に変更をした。議会事務局に法務担当職員を配置した。本会議場傍聴席に車イス用リフト。傍聴席を設置した。大いに参考になる。

課題討論 「議会活性化のための船中八策」

コーディネーター

朝日新聞論説委員 坪井ゆづる

事例報告者

上越市議会議員 滝沢一成

鎌倉市議会議員 久坂くにあ

周南市議会議員 小林雄二

坪井ゆづる

データで見る地方議会

議会選挙で男女の候補者数をできる限り「均等」にするように政党に求める法律が昨年、施行されたのを受け、現状を把握。結果は全体の2割が「女性ゼロ」だった。市議会に限れば36議会とかなり少ない。議員の「なりて不足」問題は、町村議会ほどにはないにせよ、一般市議会、特別区でも216議会が「課題になっている」との回答があった。報酬は400議会で増額していた。減らしたのは49議会だった。政令指定市を除く市議会と特別区では166議会がふやしていた。議会基本条例を「制定している」と答えた市議会は519議会にのぼった。「検討中で、近く制定予定」という市議会も17あった。

滝沢一成

議員を目指しやすい環境整備

市民と議会の距離を縮める

選挙の困難さの解決

物理的課題の解決

取り巻く環境の解決

女性特有の壁の打破

多種多様な提言内容のうち、「市民に関心をもってもらう、理解してもらう」、「女性のアプ

ローチ』という観点で、早急に取り組むべき7点は以下である。

議会傍聴の改革・活性化

模擬議会、議会体験学習の実施

意見交換会の改革

広報PRの充実

選挙マニュアルの作成

議員報酬の適正化

女性フォーラムの開催

久坂くにえ

女性議員の現状の視点として、顕在化した課題は、会議規則には、出産が欠席事由として規定されていない、期間の明記もない。会議の運営では、多様なバックグラウンドを抱える議員への配慮がない、言外の潮流は、女性活躍推進法で、豊かで活力のある社会の実現に向かっている。政治分野における男女共同参画推進法の施行により家庭生活との円滑かつ継続的な両立が可能となる。環境整備にむけて、出産にともなう議会の欠席に関する規定について、取得期間及び運用についての考え方の明示が必要。子の看護休暇に関する規定の整備が必要。配偶者出産休暇の取得を認める事。IPU「ジェンダーに配慮した議会のための行動計画」にそった、議会における インフラ及び議会文化の整備または改善が必要である。

小林雄二

周南市議会事例報告

委員会懇談会（ミニコン）

平成17年8月から始まった。開催形態は議会運営委員会、常任委員会及び特別委員会において開催される。開催方法は、座長は委員長、時間は原則2時間以内で、会議は公開にすること。会議録は要点筆記で公開をする。目的として、市民と議会が(議員)が懇談することにより、市民の自治意識の高揚を図り、議会においては市民が参画する機会を確保し、市民の声を議会活動に生かす。また、委員会における議案の審査や所管事務調査等に生かす。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 中神靖典	経理 責任者	古川美栄			
旅行期間	令和元年10月29日から 令和元年10月31日まで	2泊 3日	視察代表	太田由紀夫			
旅行先	高知県高知市 高知ぢばさんセンター (〒781-5101 高知島県高知市布師田3992-2)						
宿泊地	ウェルカムホテル高知 (〒780-0842 高知県高知市追手筋1-8-25) ※旅行先近隣の宿泊施設の確保ができなかったため旅行先より遠方で確保						
視察・研修 等目的	第14回全国市議会議長会研究フォーラム						
行程	10月29日(火) 前泊 10月30日(水) フォーラム参加 10月31日(木) フォーラム参加及び視察 詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃			3	5	4	0
	車賃			2	1	2	0
	航空賃		3	5	0	0	0
	日当			5	0	0	0
	宿泊料		1	6	0	0	0
	研修費		1	6	8	0	0
	合計		7	8	4	6	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

29日：三河田原駅 ^{渥美線} → 豊橋駅 ^{JR東海道本線} → 名古屋駅 ^{徒歩} → 名古屋駅バス停 ^{あおい交通バス} → 名古屋空港バス停 ^{徒歩} → 名古屋空港 ^{FDA(飛行機)} → 高知龍馬空港 ^{徒歩} → 高知龍馬空港バス停 ^{空港連絡バス} → 蓮池町通バス停 ^{徒歩} → ホテル

30日：ホテル ^{徒歩} → 蓮池町通駅 ^{とさでん交通路面電車} → 高知駅前駅 ^{徒歩} → 高知駅 ^{シャトルバス} → 会場 ^{シャトルバス} → 高知駅

31日：ホテル ^{徒歩} → 蓮池町通駅 ^{とさでん交通路面電車} → 高知駅前駅 ^{徒歩} → 高知駅 ^{シャトルバス} → 会場 ^{シャトルバス} → 高知駅 → 視察バス ^{FDA(飛行機)} → 高知龍馬空港 ^{議長公用タクシー} → 名古屋空港 ^{JR東海道本線} → 名古屋駅 ^{渥美線} → 豊橋駅 → 三河田原駅

経路

* 10月30日当日出発では、午後1時からの研修に間に合わないため、前泊とする。
 * 10月31日の視察に参加した場合、電車では31日中に帰れないため、航空機を利用する。

29日

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線) 520円(電)
 豊橋駅→名古屋駅(JR東海道本線)往復カルテットきっぷ 1,900円(電)
 名古屋駅前バス停→名古屋空港バス停(あおい交通バス) 700円(車)
 名古屋空港→高知龍馬空港(ツアー料金:FDA) 18,000円(航)
 高知龍馬空港バス停→蓮池町通バス停(空港連絡バス) 720円(車)

30日

蓮池町通駅→高知駅前駅(とさでん交通路面電車) 200円(電)
 高知駅→高知ぢばさんセンター(シャトルバス)
 高知ぢばさんセンター→高知駅(シャトルバス)
 高知駅前駅→蓮池町通駅(とさでん交通路面電車) 200円(電)

31日

蓮池町通駅→高知駅前駅(とさでん交通路面電車) 200円(電)
 高知駅→高知ぢばさんセンター(シャトルバス)
 高知ぢばさんセンター→高知駅(シャトルバス)
 高知駅→高知龍馬空港(視察バス)
 高知龍馬空港→名古屋空港(ツアー料金:FDA) 17,000円(航)
 名古屋空港→名古屋駅(議長公用タクシー) ✓
 名古屋駅→豊橋駅(JR東海道本線)往復カルテット切符
 新豊橋駅→三河田原駅(渥美線) 520円(電)
 日当(2,000円×2日、滞在1,000円×1日) 5,000円
 宿泊費(ツアー料金:8,000円×2泊) 16,000円
 研修費(フォーラム参加費7,000円+視察9,800円) 16,800円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	7,000 円
-------	---------

参加費領収書別紙

領収書 貼付用 紙No.	木田 空紀夫
--------------------	-----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

第14回全国市議会議長会研究フォーラム in 高知

令和元年 11 月 11 日

自由民主党田原市議団 太田由紀夫様

参加費領収書

第14回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 野 虎雄

東京都千代田区平河町2-4-2

金 7,000 円

第14回全国市議会議長会研究フォーラム in 高知

参加代として

令和元年10月30日・31日開催（高知市）

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	35,000 円
-------	----------

航空券代領収証別紙

領収書 貼付用 紙No.	木田 由紀夫
--------------------	-----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領 収 証

株式会社 JTB



登録番号

A No 045336

自由民主党田原市議団 太田由紀夫 様

株式会社 JTB
高知支店
高知市堺町1-21
JTBビル3階 〒780-0834

期間: 2019年10月29日 ~ 2019年10月31日

下記の金額正に領収いたしました。

¥35,000-

2019年12月11日

出納責任者	取扱者
●	●

但し 第14回全国市議会議長会研究フォーラム
航空券代として(10/24ご入金)

ご入金内訳 (今回のご入金額)

※軽減税率対象

代金計 (①)		(税込)		うち消費税	
		¥ 35,000-		¥	
(10%対象		¥ 35,000-		¥)
(※ 8%対象		¥		¥)
(8%対象		¥		¥)
(対象外		¥		¥)

日付	項目	単価	利用数	金額	摘要	消費税率
10/29, 31	航空券代	35,000	1	35,000		

収 入
印 紙

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	大田 由紀夫
--------------------	-----------

領収書金額	9,800 円
-------	---------

視察代領収証別紙

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領 収 証

株式会社 JTB



登録番号

A No. 045334

株式会社 JTB
高知支店
高知市堺町1-21
JTBビル3階 〒780-0834

自由民主党田原市議団 太田 由紀夫 様

期間: 2019年10月29日~2019年10月31日

下記の金額正に領収いたしました。

¥9,800-

但し 第14回全国市議会議長会研究フォーラム
視察代として(10/4ご入金)

2019年 12月 11日

出納責任者	取扱者
●	●

ご入金内訳 (今回のご入金額)

※軽減税率対象

日付	項目	単価	利用数	金額	摘要	消費税率
10/31	視察代	9,800	1	9,800		

収 入
印 紙

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

視察・研修等報告書

令和1年12月15日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団

議員名 太田由紀夫

	会派 代表者	中神靖典	経理 責任者	古川美栄
期間	令和1年10月29日(火)～31日(木)			
視察・研修等先	全国市議会議長会(高知県高知市)高知ちばさんセンター			
視察・研修等の目的	第14回全国市議会議町会研究フォーラム参加			
視察先等 面会者				
	<p>令和1年10月30日(水)</p> <p>【第1日】</p> <p>●第1部</p> <p>○基調講演 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授 中島 岳志氏</p> <p>「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」</p> <p>「現代政治のマトリクス」は、現在の政治というのがどういう大きな流れの中にあるのか、その中で「保守」という言葉が近年さまざまなどころで聞かれるように、政界でも「自分は保守なんだ」と言う方がたくさん出てくるようになった。この保守とは一体どういう概念なのかについて考える。</p> <p>1. 政治のマトリクス</p> <p>①配分をめぐる軸・・・Y軸 →セーフティーネット強化 (リスクの社会化) VS 自己責任(リスクの個人化)</p> <p>②価値をめぐる軸・・・X軸 →リベラルVS パターナル</p> <p>2. ラディカルデモクラシーとポピュリズム</p> <p>①2017年10月の立憲民主党フィーバー ・「枝野立て」→「立憲民主党はあなたです」</p>			

→2018年8月以降、支持率急落(12%→8%)

・立憲民主党の埋没

(新たな物語の欠如) + 永田町の論理(参議院での身内争い)

・自民党総裁選挙(2018年9月)

②2019年のれいわ新撰組フィーバー

3. リベラルの逆説

・「寛容」としてのリベラル

・リベラルの起源としての宗教戦争

・「異なる他社と如何に共生するのか?」という問い

→個人の価値の領域には土足で踏み込まない

・「消極的自由」(~からの自由)と「積極的自由」(~への自由)

→自由のパラドクス

4. 保守とは何か?

○カールマンハイム「保守主義的志向」

・「伝統主義」(自然的保守主義)と「保守主義」(近代的保守主義)

・「われわれは、普遍的な人間の本性としての伝統主義と、ひとつの特殊な歴史的・近代的現象としての保守主義とを区別する」

○エドモンド・バーク「フランス革命についての省察」

・フランス革命に反映された人間観への不信・「裸の野生」への懐疑

・懐疑主義的人間観

・「復古」「反動」「進歩」への懐疑・社会は完成しない

私たちの現在は、膨大な過去の蓄積・知的財産の上に成立している。→「改革」とは、過去から相続した歴史的財産に対する永遠の微調整。

●第2部

○パネルディスカッション

「議会活性化のための船中八策」

【コーディネーター】

・朝日新聞論説委員 坪井 ゆづる氏

○「自治の主役」にふさわしく

分権一括法の施行から、まもなく20年になる。この間、分権改革の流れのなか、全国各地で議会改革が繰り返し叫ばれてきた。

議会基本条例をはじめ、幾多の成果を残してきた。住民との距離を縮め、明らかに進化を遂げた議会もある。

いま、世論は実に厳しい。「いまだに『自治の主役』の自覚に欠ける議員が存在している」という「議会不信」が根強くあるのは否定しがたい事実ではないか。

全国津々浦々で、選挙のたびに過去最低の投票率が相次いでいるのも、議会に向けられた冷ややかな視線の表れに見える。

こうした世論を踏まえつつ、このフォーラムを活力があり、質の高い議会を実現してゆくための具体策を考える機会にしたい。

【パネリスト】

・市町村職員中央研修所学長 高部 正男氏

1. 市議会についての現状認識
2. 自治体議会をめぐる状況変化
3. 議会基本条例
4. 今後の自治体議会のあり方

改革というのは、終わりがあるわけではありませぬので、今後とも議会改革の取組をますます強めていく必要がある。

・株式会社コラボ代表取締役/お茶の水女子大学客員准教授
横田 響子氏

○そもそも議会に必要なこと

1. 20年後の住民は幸せですか？
2. やりっぱなしになってませんか？
数字（EBPM）とともにPDCAは？
3. 若手、女性の参加は？
巻き込んで街を活性化する策は？

○議会改革の具体的なアイデア

1. 中長期視点で街に目指す方向を議論
人口減を前提に！
2. ガチンコ会議を多様な人材で実施
3. 経験の議会提供

・高松丸亀町商店街振興組合理事長 古川 康造氏

○高松丸亀町まちづくり戦略

☆高松丸亀町商店街の再開発

【高松丸亀商店街の取組】

江戸時代から400年以上の歴史を持つ商店街で、街路のカラー

舗装、アーケードの建設、各種イベント事業など、様々な取組を行ってきた。

特に発展の契機となったのが、町営駐車場の建設。今ほど自家用車が普及していない昭和47年、商店街運営の駐車場を整備。現在では駐車場事業が様々な不採算事業（イベントホール、巡回バス、カード事業、各種イベント等）の資金源となっている。

さらなる発展に向け、平成元年頃から再開発事業の検討を始めた。そして、平成18年12月、再開発ビル第1号となるA街区再開発ビルが竣工。ここで実現した「土地の所有と利用の分離」は、後に続く再開発にも受け継がれている。

・高知市議会議長 田鍋 剛氏

○高松市議会の概要

行政のリーダーシップは、いまだ首長にあって議会は承認機関に甘んじていると言われなければならない。

二つの代表機関というのは、互いに牽制しつつも協力しあって、住民にとって最良の選択をする、この事に尽きるのではないかと思う。

議会基本条例、これは大事な条例であり、議会そして議員がその任務と役割をしっかりと認識し、二元代表制の意味と意義を胸に深く刻まないと魂の入った条例にはなりにくいのではと考える。

令和1年10月31日（木）

【第2日】

●第4部

○課題討議

「議会活性化のための船中八策」

【コーディネーター】

・朝日新聞論説委員 坪井 ゆづる氏

○データで見る地方議会

《女性議員》

今回は特に女性議員に焦点を当てた。議会選挙で男女の候補者数をできる限り「均等」にするよう政党に求める法律が昨年、施行されたのを受け、現状を把握するのが目的。

結果は、全体の約2割が「女性ゼロ」。ただ市議会に限って見れば、36議会（4.4%）とかなり少ない。ことしの統一地方選挙

で解消された議会もあるが、まだわずかながらも「女性ゼロ議会」が存在する。

《なり手不足》

議員の「なり手不足」問題は、町村議会ほどではないにせよ、一般市議会、特別区でも216議会(27%)が「課題になっている」と回答。どう打開してゆくかで、その地域の将来像も占めるのではないだろうか。

《報酬》

この4年間で、400議会が増額。49議会が減額。政令指定市を除く市議会と特別区では166議会が増。住民の理解を得て、議員専業で暮していける報酬を受け取れるようにすることが重要。

《議会基本条例》

議会基本条例を「制定している」と答えた市議会は519(63.7%)。町村議会なども含めた全議会での48.3%を大きく上回った。「検討中で、近く制定予定」という市議会の17(2%)あり、基本条例の標準装備化がすすむ実態は浮かんでいる。

《3ない議会》

当初から問題点として指摘してきたのが「3ない議会」。

1. 首長提案議案をひとつも、否決も修正もしていない。
2. 議員提案の政策条例をひとつも制定していない。
3. 議員個人の賛否を公開していない。

この3項目を重視するのは、あるべき議会像を確実に実践してゆくには、3問ともに「NO」と答える必要がある、つまり「3ある議会」になるべきだと考える。

【事例報告者】

・上越市議会議員 滝沢 一成氏

○市議を目指しやすい環境整備への提言

☆市議を目指しやすい環境整備検討会

目的は、市民の声を市政に反映させる上で、男女を問わず市民の各年齢層から市議がいるのが望ましいが、残念ながら現状は、子育て世代などの若者や女性の議員はわずかである上、挑戦する動向も伺えない状況にある。

そこで、市議を目指しやすい環境とは何か、その整備に向けて「市議を目指すことを阻害する」現状の要因など把握し、その改革案を策定すること。

・鎌倉市議会議長 久坂 くにえ氏

○女性議員の現状の視点

鎌倉市議会では、現職で初めて出産しながら活動を続けている議員です。私のように現職で出産しながら活動をしている議員は、今、全国で約150人といわれています。対して私達地方議員、町村の方も含めて約37,500人、そのうち150人。率にしてたった0.04%。そんな私達が日々活動をする中でどんな困難や壁を感じているのか、またそれに向けた解決策を示したい。この課題は私達地方議員全員が直面しており、未だに地方議員の身分が明確化されていない。これにつきると感じている。

・周南市議会議長 小林 雄二氏

○周南市議会事例報告

周南市議会は船出早々の平成16年5月16日に住民投票の結果を受けて即日解散となり、そして6月20日に出直し選挙が行われ、議員34名で新たな門出をきった。

議会解散という経験と教訓がその後の議会改革の原動力となっているのではないかと思っている。

議会改革の目標は、住民投票で解散に至った経験を踏まえ、「住民により開かれた市議会」として「公開」と「対話」をキーワードとして議会改革への市民の参画を促すとともに、市民のみなさんに市議会に関心を持ってもらうことをテーマとして掲げている。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 中神靖典	経 理 責任者	古川美栄		
旅行期間	令和元年11月6日から 令和元年11月8日まで	2泊 3日	視察代表	中神靖典		
旅行先	鹿児島県霧島市 国分体育館 (〒899-4304 鹿児島県霧島市国分清水309)					
宿泊地	かごしま第一ホテル鴨池店 (〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新田18番地) ※旅行先近隣の宿泊施設の確保ができなかったため旅行先より遠方で確保					
視察・研修 等 目 的	第81回全国都市問題会議					
行 程	11月6日(水) 前泊 11月7日(木) 全国都市問題会議参加 11月8日(金) " 詳細は別紙のとおり					
経路 別紙のとおり	旅 費					
	鉄道賃	5	1	9	4	0
	車 賃	6	7	6	0	0
	航空賃					
	日 当	5	0	0	0	0
	宿泊料	2	4	0	0	0
	研修費	1	0	0	0	0
	合 計	9	7	7	0	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

6日：三河田原駅 → 豊橋駅 → 名古屋駅 → 博多駅 → 鹿児島中央駅 →

鹿児島中央駅バス停 → 海づり公園前バス停 → ホテル

7日：ホテル → 海づり公園前バス停 → 鹿児島中央駅バス停 → 鹿児島中央駅 →

会場 → 鹿児島中央駅 → 鹿児島中央駅バス停 → 海釣り公園前バス停 → ホテル

8日：ホテル → 海づり公園前バス停 → 鹿児島中央駅バス停 → 鹿児島中央駅 →

会場 → 鹿児島中央駅 → 小倉駅 → 名古屋駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅

経路 * 低料金飛行機チケット取得不可であったため、電車での移動とする。

6日

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	520円 (電)
豊橋駅→名古屋駅(新幹線こだま指定席: 72.4km)	} 25,250円 (電)
名古屋駅→博多駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)	
博多駅→鹿児島中央駅(新幹線さくら指定席 288.9km)	
鹿児島中央駅バス停→海づり公園前バス停(鹿児島市交通局バス)	190円 (車)

7日

海づり公園前バス停→鹿児島中央駅バス停(鹿児島市交通局バス)	190円 (車)
鹿児島中央駅→国分体育館 (シャトルバス)	1,500円 (車)
国分体育館→鹿児島中央駅 (シャトルバス)	1,500円 (車)
鹿児島中央駅バス停→海づり公園前バス停(鹿児島市交通局バス)	190円 (車)

8日

海づり公園前バス停→鹿児島中央駅バス停(鹿児島市交通局バス)	190円 (車)
鹿児島中央駅→国分体育館 (シャトルバス)	1,500円 (車)
国分体育館→鹿児島中央駅 (シャトルバス)	1,500円 (車)
鹿児島中央駅→小倉駅(新幹線さくら指定席:356.1km)	} 25,650円 (電)
小倉駅→名古屋駅(新幹線のぞみ指定席 741.7km)	
名古屋駅→豊橋駅(新幹線こだま指定席 72.4km)	
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	520円 (電)

日当(2,000円×2日、滞在1,000円×1日)	5,000円
宿泊費(12,000円×2日)	24,000円
研修費	10,000円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	10000 円
-------	---------

領収書貼付用紙No.	
------------	--

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

会議参加費領収書

自由民主党田原市議員 様
申辨 靖典

金 10,000 円

但、「第81回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和元年10月24日

第81回全国都市問題会議実行委員会

会長 中重 真 嗣

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	6,000 円
-------	---------

有料シャトルバス代領収証別紙

領収書 貼付用 紙No.	中神靖典
--------------------	------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領 収 証

株式会社 JTB



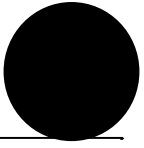
登録番号

A No 043189

株式会社JTB 鹿児島支店

〒892-0847 鹿児島県鹿児島市西千石町11-25

鹿児島アコク生命ビル5階



2019年 11月 28日

中神 靖典 様

期間：2019年11月06日～2019年11月08日

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 6,000-

但し 11/7、11/8 有料シトルバス代とし

消費税率10%

2019/10/24 振込

出納責任者	取扱者

ご入金内訳 (今回のご入金額)

※軽減税率対象

代金計 (①)	(税込)		うち消費税	
	¥	¥	¥	
(10%対象	¥		¥)
(※ 8%対象	¥		¥)
(8%対象	¥		¥)
(対象外	¥		¥)

日付	項目	単価	利用数	金額	摘要	消費税率

収 入
印 紙

領収箇所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

7日 基調講演 鹿児島県の歴史から学ぶ防災の知恵

志学館大学人間関係学部教授 原口 泉

南九州のシラス台地は2万9000年以上前の始良火山の大爆発により誕生。温度の低下でガマと呼ばれる多くの空洞ができた。年中室温が一定のガマは食料貯蔵庫として使われた。江戸時代の「門割制度」は「被害の均分と危機の分散」を考えた防災対策である。歴史資料を保存し後世の人に伝えるために公文書館を設けるのは、私たちの責務である。

主報告 霧島市の防災の取り組み(火山防災)

鹿児島県霧島市長 中重 真一

平成23年に約300年ぶりに新燃岳が噴火を契機に火山防災に取り組む。住民・登山者への避難勧告・避難指示の安全対策、火山灰の葉物野菜へ混入や付着、園芸ハウスの日照不足などの農業被害対策、観光業界等の風評被害対策、自治体間・関係機関等との連携・協力などを図る。今回は火山防災の話であり、本市の津波防災とは違いはあるが、全国的に多発する大規模災害に対して、住民一人ひとりの「自助」、地域住民・ボランティア・企業等が協力して取り組む「共助」が重視されている。

一般報告 災害とコミュニティ(地域から地域防災力強化への答えを出すために)

尚綱学院大学人文社会学群長 田中 重好

1995年の阪神・淡路大震災以降、コミュニティやボランティア活動が注目されるようになり、「公助・共助・自助」という言葉も一般的になった。現在必要なのは、コミュニティの内部から、自分たちの地域の防災力を強化しようとする動きであり、自治体側は、コミュニティの基礎体力を向上させること、コミュニティが他地域より地域防災力を高める切実感を持つこと、コミュニティの個性・特徴に合わせていくことが求められている。

平成30年7月豪雨災害における広島市の対応と取り組みについて

広島県広島市長 松井 一實

平成26年8月の豪雨災害以降、危機管理部門を消防局から独立させるとともに、危機管理機能を集約した危機管理室を新設するなどの災害対応強化を図る。生活再建に向けた取り組みは、「例外」を恐れずに現場優先という意識で対応、テレビ・冷蔵庫・洗濯機等の身の回り生活品の提供、民有地に流入した土砂の撤去では下水道局に専門チームを設置し土木業者との連携し初動体制を整える、罹災証明の早期認定調査の開始などを進める。復旧にあたっては、愛着を持って住み続けられるようなまちづくりの視点、検証を行い必要な改善、災害を記録に残し継承を図っていくことだ。

火山災害と防災

防災科学技術研究所火山研究推進センター長 中田 節也

火山国であるインドネシア・チリと比べて、日本は大きな噴火が少ない。外国では、ほぼ同一部局で観測研究に基づいて迅速な情報発信が行われているが、日本では火山研究と噴火警報の発信を担当する部局が分かれている。近い将来、日本には大規模噴火が到来する。防災対策として、地域の構成員全員が関わって作り上げるジオパークのような仕組みを活用することによって、長続きする火山防災への取り組みが可能となる。

8日 パネルディスカッション

コーディネーター 追手門学院大学地域創造学部地域創造学科長・教授 田中 正人
パネリスト 専修大学人間科学部教授 大矢根 淳
香川大学地域強靱化研究センター特命准教授 磯打 千雅子
霧島市国分野口地区自治公民館長 持留 憲治
静岡県三島市長 豊岡 武士
和歌山県海南市長 神出 政巳

大矢根教授は、生活防災の工夫として土手の花見が堤防を踏み固め、梅雨の増水に備えていること、住宅地や商店街のフラワーポットに水をやり愛でることが、領域性の確保や監視性の強化に自然とつながっている。自治会の防災マップが資機材配置図であってはならない。災害時の個人情報保護法の解釈に差がある。

磯打准教授はBCP（事業継続計画）DCP（地域継続計画）の策定・実践により、地域一体を強靱で粘り強い社会構造へ転換が急務である。DCPの目に見える成果の一つとして個別対策の実現に向けた地区防災計画の策定が期待される。

持留館長は野口地区において令和元年7月時点で、人口3007人、世帯数1471、6つの自治会で構成、自治会への加入率は約35%となっている。加入していない人も多く、公民館活動において担い手不足という課題がある。6月に自主防災会議を開催、10月末までに自主防災訓練実施計画の承認と周知、11月に自主防災訓練実施、PDCAサイクルを回して継続的な改善を実施している。今後、より自主性の高い防災組織の構築、防災に対する住民意識の更なる向上、地域コミュニティの連携強化を目指す取り組みも重要である。

豊岡市長は平成26年3月に「避難所運営基本マニュアル」を策定した。特徴はあらかじめ各避難所のレイアウト作成、要配慮者や女性用スペース、ペットの飼育場所設置などに配慮したもの。「避難所運営基本マニュアル」はA4判ファイルに綴った形式であるため、避難所開設に向けた行動に優先順位をつけ、A0判の一覧表にしたものが「避難所開設アクションシート」である。毎年、各避難所において、地域・学校・行政が「一体となった避難所開設訓練を実施している。

神出市長は南海トラフ巨大地震が発生した場合、沿岸部を中心に甚大な被害が予測されている。平成29年11月には本庁舎を津波浸水区域から約3km離れた高台に移転し、防災機

能の充実を図る。地域と連携した防災活動では、危険なブロック塀の情報収集、撤去の要請などを進め、800か所の危険情報が寄せられ、50か所の撤去を行う。災害に対しての地区のリスク、過去の災害発生状況、行政の実施している対策の内容等について、各種団体にミニ説明会を実施し、地域との信頼関係を築いている。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 中神靖典	経 理 責任者	古川美栄		
旅行期間	令和元年11月6日から 令和元年11月8日まで	2泊 3日	視察代表	岡本禎稔		
旅行先	鹿児島県霧島市 国分体育館 (〒899-4304 鹿児島県霧島市国分清水309)					
宿泊地	かごしま第一ホテル鴨池店 (〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新田18番地) ※旅行先近隣の宿泊施設の確保ができなかったため旅行先より遠方で確保					
視察・研修 等 目 的	第81回全国都市問題会議					
行 程	11月6日(水) 前泊 11月7日(木) 全国都市問題会議参加 11月8日(金) " 詳細は別紙のとおり					
経路 別紙のとおり	旅 費					
	鉄道賃	5	1	9	4	0
	車 賃		6	7	6	0
	航空賃					
	日 当		5	0	0	0
	宿泊料	2	4	0	0	0
	研修費	1	0	0	0	0
	合 計	9	7	7	0	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

6日：三河田原駅 ^{渥美線} → 豊橋駅 ^{新幹線こだま} → 名古屋駅 ^{新幹線のぞみ} → 博多駅 ^{新幹線さくら} → 鹿児島中央駅 ^{徒歩} →
 鹿児島中央駅バス停 ^{鹿児島市交通局バス} → 海づり公園前バス停 ^{徒歩} → ホテル
 7日：ホテル ^{徒歩} → 海づり公園前バス停 ^{鹿児島市交通局バス} → 鹿児島中央駅バス停 ^{徒歩} → 鹿児島中央駅 ^{シャトルバス} →
 会場 ^{シャトルバス} → 鹿児島中央駅 ^{徒歩} → 鹿児島中央駅バス停 ^{鹿児島市交通局バス} → 海釣り公園前バス停 ^{徒歩} → ホテル
 8日：ホテル ^{徒歩} → 海づり公園前バス停 ^{鹿児島市交通局バス} → 鹿児島中央駅バス停 ^{徒歩} → 鹿児島中央駅 ^{シャトルバス} →
 会場 ^{シャトルバス} → 鹿児島中央駅 ^{新幹線さくら} → 小倉駅 ^{新幹線のぞみ} → 名古屋駅 ^{新幹線こだま} → 豊橋駅 ^{渥美線} → 三河田原駅

経路 * 低料金飛行機チケット取得不可であったため、電車での移動とする。

6日

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線) 520円(電)
 豊橋駅→名古屋駅(新幹線こだま指定席:72.4km)
 名古屋駅→博多駅(新幹線のぞみ指定席808.9km) } 25,250円(電)
 博多駅→鹿児島中央駅(新幹線さくら指定席288.9km)
 鹿児島中央駅バス停→海づり公園前バス停(鹿児島市交通局バス)190円(車)

7日

海づり公園前バス停→鹿児島中央駅バス停(鹿児島市交通局バス)190円(車)
 鹿児島中央駅→国分体育館(シャトルバス) 1,500円(車)
 国分体育館→鹿児島中央駅(シャトルバス) 1,500円(車)
 鹿児島中央駅バス停→海づり公園前バス停(鹿児島市交通局バス)190円(車)

8日

海づり公園前バス停→鹿児島中央駅バス停(鹿児島市交通局バス)190円(車)
 鹿児島中央駅→国分体育館(シャトルバス) 1,500円(車)
 国分体育館→鹿児島中央駅(シャトルバス) 1,500円(車)
 鹿児島中央駅→小倉駅(新幹線さくら指定席:356.1km)
 小倉駅→名古屋駅(新幹線のぞみ指定席741.7km) } 25,650円(電)
 名古屋駅→豊橋駅(新幹線こだま指定席72.4km)
 新豊橋駅→三河田原駅(渥美線) 520円(電)

日当(2,000円×2日、滞在1,000円×1日) 5,000円
 宿泊費(12,000円×2日) 24,000円
 研修費 10,000円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付) 10,000円

領収書金額 10,000円

領収書
貼付用
紙No.

1	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

会議参加費領収書

自由民主党 田原市議員団
岡本 穂花 様

金 10,000 円

但、「第81回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和元年 10月24日

第81回全国都市問題会議実行委員会

会長 中重 真



政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	6,000 円
-------	---------

有料シャトルバス代領収証別紙

領収書 貼付用 紙No.	岡本 様
--------------------	------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領 収 証

株式会社 JT B



登録番号

A No 043191

株式会社JT B 鹿児島支店

〒892-0847 鹿児島県鹿児島市西千石町11-25

鹿児島フコク生命ビル5階

2019年 11月 28日

岡本 禎 様

期間：2019年 11月06日～2019年 11月08日

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 6,000-

但し 1/7、1/8 有料シャトルバス代として

消費税率10%

2019/10/24 振込

出納責任者	取扱者

ご入金内訳 (今回のご入金額)

※軽減税率対象

代金計 (①)	(税込)	うち消費税
	¥	¥
(10%対象	¥	¥)
(※ 8%対象	¥	¥)
(8%対象	¥	¥)
(対象外	¥	¥)

日付	項目	単価	利用数	金額	摘要	消費税率

収 入
印 紙

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

視察、研修報告書

田原市議会議長 殿

岡本 禎稔

日時 令和元年 11 月 7 日 (水) ～8 日 (木)

第 81 回全国都市問題会議

鹿児島県霧島市

基調講演 「鹿児島県の歴史から学ぶ防災の知恵」

志學館大学人間関係学部教授 原口 泉

南九州のシラス文化と自然災害

南九州の江戸時代の 災害史を振り返ってみると、「洪水→台風→旱魃→虫害→疫病」のサイクルを繰り返し、さらに火山爆発、地震、津波が被害を増幅させた。

門割制度という防災農法

「門割制度」とは、江戸時代の土地制度のことで、門という 4～5 戸の農家の集まりごとに耕地を割り当て、一定期間ごとに割り替えをする制度。一見面倒な制度だが、防災の観点からみると、とても理に適うものである。

主報告 「霧島市の防災の取り組み」－火山防災－

霧島市長 中重 真一

鹿児島県の自然災害

鹿児島県本渡の大部分は、主に始良カルデラから火砕流として噴出したシラスや溶結凝灰岩によって広く覆われており、このうち火山灰からなるシラスは、水を含むと崩れやすい特性があり、これまでも梅雨期や台風時等の豪雨により、がけ崩れ等の土砂災害が数多く発生している。また、鹿児島県には 11 の活火山があり、全国有数の火山活動が活発な地域。

火山防災の取り組み

住民、登山者への安全対策

農業被害対策

観光業界等の被害対策

自治体間、関係機関等との連携・協力

一般報告 「災害とコミュニティ：地域から地域防災力強化への答えを出すために」

尚綱学院大学人文社会学郡長 田中 重好

地域防災力の向上は、従来の政府に頼るのではなくて、「それぞれの自治体が答えを出してゆかなければならない」課題である。さらに、自治体側においては、「それぞれのコミュ

ニティが自ら答えを出していかなければならない」課題なのである。こうした「地域ごとに答えをだす」という自覚から、この問題は出発するのである。こうした全国の地域ごとの経験を「横に結ぶこと」である。全国の自治体が「実践的に試み、成功、あるいは失敗した」地域防災力への取り組みを。全国の自治体の共同の経験にしていくことで、「地域からの答え」が生まれてくる。経験の共有化によってこそ「地域からの防災力の強化」が実現する近道なのである。

一般報告 「平成30年7月豪雨災害における広島市の対応と取り組みについて」
広島市長 松井 一寛

平成30年、台風7号は7月4日15時に日本海中部で温帯低気圧に変わった。この低気圧から延びる梅雨前線が西日本に停滞、温かく非常に湿った空気が前線に供給され続けて、広島市では6日昼過ぎから7日朝にかけて大雨となった。大雨に伴い、広島市東部を中心に、土石流やがけ崩れ、河川の氾濫が相次ぎ、死者26人、行方不明者2人など、大きな被害が発生した。今回の災害で、最大で145施設の避難場所を開設した。避難所の最大避難者数は8,423人に達した。平成30年9月に「平成30年7月豪雨災害における避難対策等検証会議」を設置し、避難情報の発令・伝達と避難行動などについての検証がおこなわれ、同年12月に提言がまとめられた。この提言では、「災害が発生した場合に人名が失われることを防ぐためには、災害の危険性を我がこととして認識していただくことが極めて重要であり、そして、避難については、地域コミュニティの役割が大きい」という指摘があった。

一般報告 「火山災害と防災」

防災科学技術研究所火山研究推進センター長 中田 節也

近い将来、日本には私たちが最近経験していない規模の噴火が到来する。現在の火山防災体制がまだまだ不十分であることを理解し、来るべき大きな噴火の対策を国任せにするのではなく、私たちが協働して行う必要がある。ここではジオパークという仕組みを使って、防災をテーマに自治体構成員全体が協働で作業ができる例が紹介された。ジオパークにおける防災活動のポイントは、日ごろ我々が恩恵を被っている火山という自然を認識し、それらを有する地域の魅力を再確認しながら、発生頻度の低いながらも必ずやってくる火山災害について理解することである。誇りある地域を自然災害から守り持続的に発展するために、地域の構成員全員が関わって作り上げるジオパークのような仕組みを活用することによって、長続きする火山防災への取り組みが可能になる。

パネルディスカッション 「防災とコミュニティ」

追手門学院大学地域創造学部地域創造学科長・教授 田中 正人

コミュニティ・レジリエンス醸成のカギをさぐって —結果防災の掘り起こし—

専修大学人間科学部教授 大矢根 淳

防災をめぐる地域コミュニティへの社会的期待の高まりにどう応えるか、例えばそれは地縁型コミュニティ組織の取り組みを市町等各自治体がどう位置付け、醸成していくべきかについての諸論点が的確に「防災とコミュニティ」というテーマで解説されている。地元の被害想定へのシナリオに即して防災倉庫内は整理されているかどうか。全国一律の補助金行政による防災倉庫完備は、典型的な餅絵となる。あくまでもローカルの事情を基盤に、個別具体的なステークホルダーが納得ずくで地域防災シナリオに登場するように、多様な想像力を盛り込みたい。

目標と限界を共有する戦略的な連携計画 -地域継続計画 DCP-

香川大学地域強靱化研究センター特命准教授 磯打 千雅子

地域継続で考える「地域」の範囲は、近所の範囲から町内会、連合町内会、小学校区、行政単位等が想定されるが、その取り組みの担い手は範囲内に所在する地区居住者・事業者等であり、地方自治体は担い手の地域継続を支援する伴走者である。しかしながら、昨今の災害による被害は突発的で甚大となる傾向があり、伴走者であるはずの地方自治体そのものが機能不全に陥る可能性がある。伴走者がいなければ、走者は走り続けることができない。地域継続の担い手を中心とした伴走機能の継続が必要であり、DCPを通じて走者目線で機能継続対策を検討する必要性があると考えている。

地域コミュニティの強化を目指して

霧島市国分野口地区自治公民館長 持留 憲治

野口地区自治公民館としては「自分の命は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」ことが重要であり、そのためには、自助、共助である自主防災組織による素早い行動が最も有効になる。地域の人たちがお互いに協力して、迅速でかつ適切に行動できる様に繰り返し防災訓練を実施してきた。事業継続の鍵は、強いリーダーシップとその実務も担う防災担当の知識と経験が必要であり、継続的な人材育成が極めて重要な課題で、担い手不足にある地域では人材育成の仕組みが重要になってきている。

安心・安全なまち三島を目指して

静岡県三島市長 豊岡 武士

市内の小学校14校、中学校7校、県立高等学校2校を指定避難所に指定している。毎年、年度当初に避難所となるすべての学校において、自主防災会、民生委員、教職員、避難所の運営支援をおこなう市職員、危機管理課職員による避難所運営会議を開催し、避難所運営組織の確認、「避難所運営基本マニュアル」の周知等を行い、避難所運営の中核となるメンバー内での情報の共有を図っている。三島市は幸いにも、祭典等を通じて自治会・町内会組織が活発に活動しており、市民の共助の意識は高いものと感じている。今後も、市民・企

業・行政が一体となった「チーム三島」の力を結集し、この地域から一人も犠牲者を出さないという強い決意を持って、全力を挙げて防災対策に取り組んでいく。

防災活動を通じた地域との連携 ー更なる信頼関係の構築に向けてー
和歌山県海南市長 神出 政巳

東日本大震災を契機に防災意識が高まる一方、阪神・淡路大震災等の教訓により、災害時には公的な救助や活動は期待できないとの認識も広がり、市民にも「自分たちの命は自分たちで守る」という考え方が浸透しつつある。南海トラフ地震や大雨・台風等の自然災害は、市民の生命、財産に直接関係する重要な課題であり、行政が地域と連携して実施する防災活動は、地域の「自助」「共助」の意識を高めるだけでなく、地域と行政との間に密接な関係を築くことに繋がる。海南市では、今後とも地域と連携した様々な防災活動を実施することにより、市民の生命、財産を守るとともに、様々な課題に地域と一っしょに取り組んでいけるよう、更なる信頼関係の構築に努める。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 中神靖典	経理 責任者	古川美栄			
旅行期間	令和元年11月6日から 令和元年11月8日まで	2泊 3日	視察代表	古川美栄			
旅行先	鹿児島県霧島市 国分体育館 (〒899-4304 鹿児島県霧島市国分清水309)						
宿泊地	かごしま第一ホテル鴨池店 (〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新田18番地) ※旅行先近隣の宿泊施設の確保ができなかったため旅行先より遠方で確保						
視察・研修 等 目的	第81回全国都市問題会議						
行程	11月6日(水) 前泊 11月7日(木) 全国都市問題会議参加 11月8日(金) " 詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		5	1	9	4	0
	車賃			6	7	6	0
	航空賃						
	日当			5	0	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
合計		9	7	7	0	0	

※太枠内へ所要事項を記入すること。
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

6日：三河田原駅 ^{渥美線} → 豊橋駅 ^{新幹線こだま} → 名古屋駅 ^{新幹線のぞみ} → 博多駅 ^{新幹線さくら} → 鹿児島中央駅 ^{徒歩} →
 鹿児島中央駅バス停 ^{鹿児島市交通局バス} → 海づり公園前バス停 ^{徒歩} → ホテル
 7日：ホテル ^{徒歩} → 海づり公園前バス停 ^{鹿児島市交通局バス} → 鹿児島中央駅バス停 ^{徒歩} → 鹿児島中央駅 ^{シャトルバス} →
 会場 ^{シャトルバス} → 鹿児島中央駅 ^{徒歩} → 鹿児島中央駅バス停 ^{鹿児島市交通局バス} → 海釣り公園前バス停 ^{徒歩} → ホテル
 8日：ホテル ^{徒歩} → 海づり公園前バス停 ^{鹿児島市交通局バス} → 鹿児島中央駅バス停 ^{徒歩} → 鹿児島中央駅 ^{シャトルバス} →
 会場 ^{シャトルバス} → 鹿児島中央駅 ^{新幹線さくら} → 小倉駅 ^{新幹線のぞみ} → 名古屋駅 ^{新幹線こだま} → 豊橋駅 ^{渥美線} → 三河田原駅

経路 * 低料金飛行機チケット取得不可であったため、電車での移動とする。

6日

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線) 520円(電)
 豊橋駅→名古屋駅(新幹線こだま指定席:72.4km)
 名古屋駅→博多駅(新幹線のぞみ指定席808.9km) } 25,250円(電)
 博多駅→鹿児島中央駅(新幹線さくら指定席288.9km)
 鹿児島中央駅バス停→海づり公園前バス停(鹿児島市交通局バス)190円(車)

7日

海づり公園前バス停→鹿児島中央駅バス停(鹿児島市交通局バス)190円(車)
 鹿児島中央駅→国分体育館(シャトルバス) 1,500円(車)
 国分体育館→鹿児島中央駅(シャトルバス) 1,500円(車)
 鹿児島中央駅バス停→海づり公園前バス停(鹿児島市交通局バス)190円(車)

8日

海づり公園前バス停→鹿児島中央駅バス停(鹿児島市交通局バス)190円(車)
 鹿児島中央駅→国分体育館(シャトルバス) 1,500円(車)
 国分体育館→鹿児島中央駅(シャトルバス) 1,500円(車)
 鹿児島中央駅→小倉駅(新幹線さくら指定席:356.1km) } 25,650円(電)
 小倉駅→名古屋駅(新幹線のぞみ指定席741.7km)
 名古屋駅→豊橋駅(新幹線こだま指定席72.4km)
 新豊橋駅→三河田原駅(渥美線) 520円(電)

日当(2,000円×2日、滞在1,000円×1日) 5,000円
 宿泊費(12,000円×2日) 24,000円
 研修費 10,000円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

領収書金額	10,000 円
-------	----------

①	研究研修費
②	調査旅費
③	広報費
④	広聴費
⑤	要請・陳情活動費
⑥	会議費
⑦	資料作成費
⑧	資料購入費
⑨	事務費
⑩	その他の経費

会議参加費領収書

志川美菜 様

金 10,000 円

但、「第81回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和元年10月24日

第81回全国都市問題会議実行委員会

会長 中重 真



政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	6,000	円
-------	-------	---

領収書 貼付用 紙No.	古川美栄
--------------------	------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

有料シャトルバス代領収証別紙.

領 収 証

株式会社 JTB



登録番号

A No 043193

株式会社JTB 鹿児島支店

〒892-0847 鹿児島県鹿児島市西千石町11-25

鹿児島7コク生金ビル5階

2019年 11月 28日

古川美栄 様

期間：2019年11月06日～2019年11月08日

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 6,000-

但し11/7, 11/8 有料シャトルバス代として

消費税率10%

2019/10/24 振込

出納責任者	取扱者

ご入金内訳 (今回のご入金額)

※軽減税率対象

代金計 (①)		(税込)		うち消費税		
日付	項目	単価	利用数	金額	摘要	消費税率
	(10%対象	¥		¥)
	(※ 8%対象	¥		¥)
	(8%対象	¥		¥)
	(対象外	¥		¥)

収 入
印 紙

領収箇所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

視察・研修等報告書

令和元年11月11日

田原市議会議長 殿

会派名 自民市議団
議員名 古川美栄

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	中神靖 典	経 理 責任者	古川美栄
期 間	平成元年11月6日（水）～平成元年11月8日（金）			
視 察 ・ 研 修 等 先	第81回全国都市問題会議 鹿児島県霧島市			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	防災とコミュニティ			
視 察 先 等 面 会 者	志學館大学原口泉教授、中重真一霧島市長、尚綱学院大学田中重好郡長、田中正人追手門学院大学教授、大屋根淳専修大学教授、磯打千雅子香川大学准教授、豊岡武士三島市長など			
概要及び所見	<p>原口泉教授による基調講演では、南九州では江戸時代「洪水→台風→旱魃→虫害→疫病」更に火山爆発、地震、津波が被害を増幅させていた。「門割制度」と言う防災農法が被害の均等分に繋がり、危機の分散になっていた。人災から歴史資料を守る→歴史資料は国民の財宝と言ってよい、百年後の国民に今の歴史を伝えるのは私たちの責任である。</p> <p>中重真一霧島市長は新燃岳における市の対応について述べられた、300年ぶりの大噴火により観光客の減少など大きな打撃を与えた、正確な情報が伝わらず観光客が激減した教訓から風評被害を抑制するため現地の状況についての情報発信に努めた、宿泊客のキャンセルは少なかった。火山防災の取り組みとして「新燃岳安全対策マップ」の作成、「噴火活動が活発化した場合の避難計画」を作成ホームページに公表している。防災行政無線により早期の避難行動の呼びかける。近年、全国的に多発する大規模な災害に対し、住民一人ひとりによる「自助」、地域住民やボランティア、企業等が協力して取り</p>			

組む「共助」が重視されている。行政においては、地域住民の取り組みへの支援はもとより、地域社会を中心としたコミュニティの防災への取り組みの推進に努め、いつでも起こりうる災害に機能を発揮できるコミュニティの構築と災害に強いまちづくりを目指すべき。

豊岡武士三島市長からは避難所運営に関する取り組みについて報告があり、避難所運営会議では避難所運営の中核となるメンバー内での情報共有を図っている、避難所運営基本マニュアルは自主防災会、学校、市職員で共有する避難所運営方法を定めている。避難所開設アクションシートは解説に携わる者が同時に開設手順を共有できる様優先順位図けしたものの。避難所開設訓練では訓練で明らかになった課題はマニュアルに反映し、実効性のあるものとなる様改良を重ねている。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 中神靖典	経理 責任者	古川美栄			
旅行期間	令和元年11月6日から 令和元年11月8日まで	2泊 3日	視察代表	森下田嘉治			
旅行先	鹿児島県霧島市 国分体育館 (〒899-4304 鹿児島県霧島市国分清水309)						
宿泊地	かごしま第一ホテル鴨池店 (〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新田18番地) ※旅行先近隣の宿泊施設の確保ができなかったため旅行先より遠方で確保						
視察・研修 等 目的	第81回全国都市問題会議						
行程	11月6日(水) 前泊 11月7日(木) 全国都市問題会議参加 11月8日(金) " 詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		5	1	9	4	0
	車賃			6	7	6	0
	航空賃						
	日当			5	0	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
合計		9	7	7	0	0	

※太枠内へ所要事項を記入すること。
経路及び旅費については、事務局にて記入。

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

領収書金額	10,000円
-------	---------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

会議参加費領収書

森下 田嘉治 様

金 10,000 円

但、「第81回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和元年10月24日

第81回全国都市問題会議実行委員会

会長 中重 真一

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	6,000 円
-------	---------

有判シャトルバス代領収証別紙

領収書 貼付用 紙No.	森下四喜治
--------------------	-------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領 収 証

株式会社 JTB



登録番号

A No 043187

株式会社JTB 鹿児島支店

〒892-0647 鹿児島県鹿児島市西千石町11-25

鹿児島フコク生命ビル5階

2019年11月28日

森下 田嘉治 様

期間：2019年11月06日～2019年11月08日



下記の金額正に領収いたしました。

¥ 6,000-

但し 1/7. 1/8 有料シャトルバス代として

消費税率10%

2019/10/24 振込

出納責任者	取扱者
	

ご入金内訳 (今回のご入金額)

※軽減税率対象

代金計 (①)		(税込)			うち消費税	
		¥		¥		
(10%対象		¥		¥)	
(※ 8%対象		¥		¥)	
(8%対象		¥		¥)	
(対象外		¥		¥)	
日付	項目	単価	利用数	金額	摘要	消費税率

収 入
印 紙

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

視察・研修等報告書

令和1年12月17日

田原市議会議長

会派名自由民主党田原市議団
議員名森下 田嘉治

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	中神 靖典	経理 責任者	古川 美栄
期 間	令和1年11月7日（木）～令和1年11月8日（金）			
視察・研修 等先	第81回全国都市問題会議 霧島市国分体育館			
視察・研修 等の目的	防災とコミュニティ			
視察先等 面会者				
概要及び所 見	<p>11月17日（木） 基調講演「鹿児島県の歴史から学ぶ防災の知恵」 原口 泉志 学館大学人間関係学部教授の基調講演から 南九州のシラス文化と自然について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南九州の江戸時代からの災害史を振り返ってみると「洪水—台風—旱魃—虫害—疫病」のサイクルを繰り返し、さらに火山爆発、地震、津波が被害を増幅させた。 <p>角割制度という防災農法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「角割制度」とは、江戸時代の土地制度のことで、門という4～5戸の農家の集まりごとに耕地（田畑）を割り当て、一定期間ごとに割り変えをする制度である。東北地方や西日本の河川流域など、局所的に多くみられる制度だが、薩摩藩（含琉球王国）では全領域に施行されていた。耕地を割り変えるという一見面倒な制度だが、防災の観点からみると、とても理に適うものである。災害によって作物の収穫ができなかったり、減少したりという被害がでた場合、その被害が地域社会にとって壊滅的な打撃と 			

ならないようにするための知恵が角割制度にはあった。
人災から歴史資料を守る。

- ・近年、地震や豪雨、台風などの自然災害が多発している。その度に歴史資料が失われるのではと心配である。だが歴史資料は、このような災難を免れて残された国民の財宝とってよい。その保存には東郷重持など多くの先輩たちが関わっていることを忘れてはならない。百年後の国民に今の歴史を伝えるための公文書館を設けるのは、私たちの責任である。

主報告

霧島市の防災の取り組み（火山防災）について、中重 真一
鹿児島県霧島市長から取り組みの報告があった。

一般報告

田中 重好尚 綱学院大学人文社会学群長

災害とコミュニティ：地域から地域防災力強化への答えを出すために。

松井 一實 広島県広島市長

平成30年7月豪雨災害における広島市の対応ととりくみについて報告があった。

中田 節也 国立研究開発法人防災科学技術研究所火山研究推進センター長

火山災害と防災について報告があった。

11月18日（金）

パネルディスカッション

コーディネーターは田中 正人 追手門学院大学地域創部地域創造学科長・教授

パネリストは、大矢 根 淳 専修大学人間科学部教授、「コミュニティ・レジエンス醸成のカギをさぐって」

磯内千雅子「目標と限界を共有する戦略的な連携計画」

持留 憲治「地域コミュニティの強化を目指して」

豊岡 武 静岡県三島市長「安全・安心なまち三島を目指して」

神出 政巳 和歌山県海南市長「防災活動を通じた地域との連携」以上のテーマでパネルディスカッションが行われた。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 中神靖典	経理 責任者	古川美栄			
旅行期間	令和元年11月6日から 令和元年11月8日まで	2泊 3日	視察代表	太田由紀夫			
旅行先	鹿児島県霧島市 国分体育館 (〒899-4304 鹿児島県霧島市国分清水309)						
宿泊地	かごしま第一ホテル鴨池店 (〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新田18番地) ※旅行先近隣の宿泊施設の確保ができなかったため旅行先より遠方で確保						
視察・研修 等 目的	第81回全国都市問題会議						
行程	11月6日(水) 前泊 11月7日(木) 全国都市問題会議参加 11月8日(金) " 詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		5	1	9	4	0
	車賃			6	7	6	0
	航空賃						
	日当			5	0	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
	合計		9	7	7	0	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
経路及び旅費については、事務局にて記入。

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	10,000 円
-------	----------

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

会議参加費領収書

自由民主党 田原市議員
太田 由紀夫 様

金 10,000 円

但、「第81回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和元年10月24日

第81回全国都市問題会議実行委員会

会長 中重 真一

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	6,000 円
-------	---------

領収書 貼付用 紙No.	大田由紀夫
--------------------	-------

有料シャトルバス代領収証別紙

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領 収 証

株式会社 JTB



登録番号

A No 043195

株式会社JTB 鹿児島支店

〒892-0647 鹿児島県鹿児島市西千石町1-25

鹿児島フコク生命ビル5階

2019年 11月 28日



太田由紀夫 様

期間：2019年11月06日～2019年11月08日

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 6,000-

但し 11/7, 11/8 有料シャトルバス代として

消費税率10%

2019/10/24 振込

出納責任者	取扱者

ご入金内訳 (今回のご入金額)

※軽減税率対象

代金計 (①)		(税込)		うち消費税			
	¥	¥		¥			
(10%対象	¥	¥		¥)		
(※ 8%対象	¥	¥		¥)		
(8%対象	¥	¥		¥)		
(対象外	¥	¥		¥)		
日付	項目	単価	利用数	金額	摘要	消費税率	

収 入
印 紙

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

視察・研修等報告書

令和1年12月15日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団

議員名 太田由紀夫

	会派 代表者	中神靖典	経理 責任者	古川美栄
期間	令和1年11月6日(水)～8日(金)			
視察・研修等先	全国都市問題会議(鹿児島県霧島市) 国分体育館			
視察・研修等の目的	第81回全国都市問題会議への参加			
視察先等 面会者				
	<p>令和1年11月7日(木)</p> <p>【第1日】</p> <p>●開会式</p> <p>○議題開設『防災とコミュニティ』</p> <p>日本が世界的に見ても災害が多い国であることは、多くの人が実感し、認識していることである。</p> <p>日本各地で大規模な自然災害が発生しているし、発生の緊迫性が指摘されている南海トラフ巨大地震や首都直下地震、地球温暖化による気候変動が大きな影響を与える気象災害など、今後も大きな自然災害の発生が懸念されている。「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉があるが、「忘れぬうちにやってくる」というべきかもしれない。</p> <p>こうした中、人々の災害、そして防災への関心は高まりを見せている。特に、阪神・淡路大震災や東日本大震災のような大規模災害や近年の幾多の気象災害の経験を通じて、「公助」の限界が認識されるようになった一方で、防災の原点としての住民一人ひとりによる「自助」とともに、近隣住民などの地域コミュニティによる「共助」が、再評価されるようになっている。</p> <p>今回の全国都市問題会議では、「防災とコミュニティ」をテーマ</p>			

とした。災害や防災の取組を概観しつつ、そこでの地域コミュニティをはじめとするコミュニティの役割等について大まかに整理し、議論を進めていく上でのきっかけとしたい。

●基調講演 志學館大学人間関係学部教授 原口 泉氏

『鹿児島県の歴史から学ぶ防災の知恵』

《1》南九州のシラス文化と自然災害

《2》門割制度という防災農法

《3》人災から歴史資料を守る

歴史資料は、災難を免れて残された国民の財産といってよい。その保存には東郷重持など多くの先達関わっていることを忘れてはならない。文書、記録書の保存を特定の人にだけ頼ってよいのだろうか。百年後の国民に今の歴史を伝えるために公文書館を設けるのは、私たちの責任であろう。

●主報告 鹿児島県霧島市長 中重 真一氏

『霧島市の防災の取組』—火山防災—

火山を有する霧島市は、火山活動が活発化すれば、住民生活や経済活動に大きな影響を受ける反面、温泉や景観といった恩恵も受けており、霧島山は重要な地域資源である。「自然の多様性とそれを育む火山活動」をテーマとする霧島ジオパークの取組では、「きりしまジオツアー」や「子ども火山スクール」などを開催し、現地で霧島山の地形と噴火の歴史を知ってもらうとともに、火山の仕組みの学習を通じて、広く市民に火山防災に関する意識の向上を図っている。

近年、全国的に多発する大規模な災害に対し、住民一人ひとりによる「自助」、地域住民やボランティア、企業等が協力して取り組む「共助」が重視されている。

行政においては、地域、住民の取組への支援はもとより、地域社会を中心としたコミュニティの防災への取組の推進に努め、いつでも起こりうる災害に機能を発揮できるコミュニティの構築と災害に強いまちづくりを目指していく。

●一般報告 尚絅学院大学人文社会学郡長 田中 重好氏

『防災とコミュニティ：地域から地域防災力強化への答えを出すために』

どうしたら地域防災力が向上していくかの回答は、従来のように政府に頼るのではなく、「それぞれの自治体が答えを出してゆかなければならない」問題。さらに、自治体側においては、「それぞれのコミュニティが自ら答えを出してゆかなければならない」課題。こうした「地域ごとに答えを出す」という自覚から、この問題は出発する。

全国の地域ごとに経験を「横に結ぶこと」で、全国の自治体が「実践的に試み、成功、あるいは失敗した」地域防災力への取組を、全国の自治体の共同の経験にしていくことで、「地域からの答え」が生まれてくる。経験の共有化によってこそ、「地域からの防災力強化」が実現する近道。

●一般報告 広島県広島市長 松井 一實氏

『平成30年7月豪雨災害における広島市の対応と取組について』
☆伝えたいことは

【平常時】

- ・ 自分の市町は大丈夫であろう予断を持たず、災害への備えをとっておくこと。
- ・ その際、いかに住民に「災害は身近に起こりうるもの」という当事者意識を持ってもらうかを意識すること。
- ・ 大規模・広域自然災害に備え、近隣の市町との危機管理体制の連携を図ること。

【災害発生の可能性が高まった時】

- ・ “狼少年”論を怖れることなく、人命を大切にすることに最善を尽くすのみという覚悟を持つこと。

【復旧・復興期以降】

- ・ 復旧にあたっては、単に機能復旧するだけでなく、その地域に住んでいる住民が、これからも愛着を持って住み続けられるような“まち”にしていくという視点を持つこと。
- ・ 前例にとらわれず、常に検証を行い、必要な改善を行うこと。
- ・ 災害を記録に残し、継承を図っていくこと。

☆ 日本は、その位置、地形、地質、気象等の自然的条件から、台風、豪雨、豪雪、洪水、がけ崩れ、土石流、地すべり、地震、津波、火山噴火等による災害が発生しやすい国土となっている。

● 一般報告 防災科学技術研究所火山研究センター長
中田 節也氏

『火山災害と防災』

近い将来、日本には私たちが最近経験していない規模の大きな噴火が到来する。現在の火山防災体制がまだまだ不十分であることを理解し、来るべき大きな噴火の対策を国任せにするのではなく、私たちが協働して行う必要があるだろう。

誇りある地域を自然災害から守り持続的に発展するために、地域の構成員全員が関わって作り上げるジオパークのような仕組みを活用することによって、長続きする火山防災への取組が可能になるだろう。

平成30年11月8日（金）

【第2日】

● パネルディスカッション

○ テーマ 『防災とコミュニティ』

【コーディネーター】

・ 追手門学院大学地域創造学部地域創造学科長・教授 田中正人氏

【パネリスト】

・ 専修大学人間科学部教授 大矢根 淳氏

『コミュニティ・レジリエンス醸成のカギをさぐって』

—結果防災（活動・組織）の掘り起こし—

《1》原理と実践を振り返りつつ共助を考える

《2》「防災は行政任せ」のもう一つの側面

《3》結果（生活）防災の工夫～「土手の花見」から「防災マップ」づくりへ

《4》悩ましい問題～個人情報保護法の再読（手許・足許の再確認）

本テーマ「防災とコミュニティ」の議題解説では、防災をめぐる地域コミュニティへの社会的期待の高まりにどう応えるか、地縁方コミュニティ組織（町内会や自治会）の取組を市町等各自自治体がどう位置付け、醸成していくべきかについての諸論点が的確に開設されている。ここでは、共助に関わりうる具体的事情・実践的概念のいくつかを紐解きながら、コミュニティ・レジリエンスの醸成について考えていく。

・香川大学地域強靱化研究センター特命准教授 磯打 千雅子氏
『目標と限界を共有する戦略的な連携計画』

—地域継続計画DCP—

地域継続で考える「地域」の範囲は、近所の範囲から町内会、連合町内会、小学校区、行政単位等が想定されるが、その取組の担い手は範囲内に所在する地区居住者・事業者であり、地方自治体は担い手の地域継承を支援する伴奏者である。

しかしながら、昨今の災害による被害は突発的で甚大となる傾向があり、伴奏者であるはずの地域自治体そのものが機能不全に陥る可能性」がある。

伴奏者がいなければ、走者は走り続けることができない。地域継続の担い手を中心とした伴走機能の継続が必要であり、DCPを通じて走者目線で機能継続対策を検討する必要性があると考えます。

・霧島市国分野口地区自治公民館長 持留 憲治氏
『地域コミュニティの強化を目指して』

人材育成については、これまでの防災担当者を中心に鹿児島県の事業である「地域防災リーダー養成講座」を受講させ、地域防災推進員としての認定者の増加を図った結果、現在約10名が認定者となっている。今後は新人自治会長などの受講を推進し、さらに安心安全で住みやすい地域を目指して、地域住民全体で推進していく。

・静岡県三島市長 豊岡 武士氏
『安全・安心なまち三島を目指して』

—地域防災とコミュニティ—

近年、発生形態が多様化する災害に対し、市民の生命・身体・財産を守ることは地方自治体に課せられた最大の使命。しかし、行政の力だけで災害を乗り越えることができないのは、過去の災害から明らかになっており、「自分の命は自分で守る」「自らの地域は皆で守る」という自助・共助、そして公助がバランスよく機能することが重要。

・和歌山県海南市長 神出 政巳氏
『防災活動を通じた地域との連携』

—更なる信頼関係の構築に向けて—

南海トラフ地震や大雨・台風等の自然災害は、市民の生命、財産

に直接関係する重要な課題であり、行政が地域と連携して実施する防災活動は、地域の「自助」「共助」の意識を高めるだけでなく、地域と行政との間に密接な信頼関係を築くことにも繋がる。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 中神靖典	経 理 責任者	古川美栄			
旅行期間	令和元年11月6日から 令和元年11月8日まで	2泊 3日	視察代表	大竹正章			
旅行先	鹿児島県霧島市 国分体育館 (〒899-4304 鹿児島県霧島市国分清水309)						
宿泊地	かごしま第一ホテル鴨池店 (〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新田18番地) ※旅行先近隣の宿泊施設の確保ができなかったため旅行先より遠方で確保						
視察・研修 等 目 的	第81回全国都市問題会議						
行 程	11月6日(水) 前泊 11月7日(木) 全国都市問題会議参加 11月8日(金) " 詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		5	1	9	4	0
	車 賃			6	7	6	0
	航空賃						
	日 当			5	0	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
	合 計		9	7	7	0	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

6日: 三河田原駅 ^{渥美線} → 豊橋駅 ^{新幹線こだま} → 名古屋駅 ^{新幹線のぞみ} → 博多駅 ^{新幹線さくら} → 鹿児島中央駅 ^{徒歩} →

鹿児島中央駅バス停 ^{鹿児島市交通局バス} → 海づり公園前バス停 ^{徒歩} → ホテル

7日: ホテル ^{徒歩} → 海づり公園前バス停 ^{鹿児島市交通局バス} → 鹿児島中央駅バス停 ^{徒歩} → 鹿児島中央駅 ^{シャトルバス} →

会場 ^{シャトルバス} → 鹿児島中央駅 ^{徒歩} → 鹿児島中央駅バス停 ^{鹿児島市交通局バス} → 海釣り公園前バス停 ^{徒歩} → ホテル

8日: ホテル ^{徒歩} → 海づり公園前バス停 ^{鹿児島市交通局バス} → 鹿児島中央駅バス停 ^{徒歩} → 鹿児島中央駅 ^{シャトルバス} →

会場 ^{シャトルバス} → 鹿児島中央駅 ^{新幹線さくら} → 小倉駅 ^{新幹線のぞみ} → 名古屋駅 ^{新幹線こだま} → 豊橋駅 ^{渥美線} → 三河田原駅

経路 * 低料金飛行機チケット取得不可であったため、電車での移動とする。

6日

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	520円(電)
豊橋駅→名古屋駅(新幹線こだま指定席:72.4km)	} 25,250円(電)
名古屋駅→博多駅(新幹線のぞみ指定席808.9km)	
博多駅→鹿児島中央駅(新幹線さくら指定席288.9km)	
鹿児島中央駅バス停→海づり公園前バス停(鹿児島市交通局バス)	190円(車)

7日

海づり公園前バス停→鹿児島中央駅バス停(鹿児島市交通局バス)	190円(車)
鹿児島中央駅→国分体育館(シャトルバス)	1,500円(車)
国分体育館→鹿児島中央駅(シャトルバス)	1,500円(車)
鹿児島中央駅バス停→海づり公園前バス停(鹿児島市交通局バス)	190円(車)

8日

海づり公園前バス停→鹿児島中央駅バス停(鹿児島市交通局バス)	190円(車)
鹿児島中央駅→国分体育館(シャトルバス)	1,500円(車)
国分体育館→鹿児島中央駅(シャトルバス)	1,500円(車)
鹿児島中央駅→小倉駅(新幹線さくら指定席:356.1km)	} 25,650円(電)
小倉駅→名古屋駅(新幹線のぞみ指定席741.7km)	
名古屋駅→豊橋駅(新幹線こだま指定席72.4km)	
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	520円(電)

日当(2,000円×2日、滞在1,000円×1日)	5,000円
宿泊費(12,000円×2日)	24,000円
研修費	10,000円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書貼付用紙No.	KTT 2
------------	-------

領収書金額	10,000 円
-------	----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

2

会議参加費領収書

自由民主党 田原市議員
 大竹正章 様

金 10,000 円

但、「第81回全国都市問題会議」に係る会議参加費として上記正に領収いたしました。

令和元年 10月24日

第81回全国都市問題会議実行委員会

会長 中重 真

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	6,000 円
-------	---------

有料シャトルバス代領収証別紙

領収書 貼付用 紙No.	大竹正幸
--------------------	------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領 収 証

株式会社 JTB



登録番号

A No 043183

大竹 正章 様

株式会社JTB 鹿児島支店

〒892-0847 鹿児島県鹿児島市面千石町11-25

鹿児島フコク生命ビル5階

期間：2019年11月06日～2019年11月08日

2019年11月28日

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 6,000-

出納責任者	取扱者

但し 11/7、11/8 有料シトルバス代として
消費税率10%
2019/10/24 振込

ご入金内訳 (今回のご入金額)

※軽減税率対象

代金計 (①)	(税込)				うち消費税	
	¥			¥		
(10%対象	¥			¥)	
(※ 8%対象	¥			¥)	
(8%対象	¥			¥)	
(対象外	¥			¥)	
日付	項目	単価	利用数	金額	摘要	消費税率

収入
印紙

領収箇所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

視察・研修等報告書

令和1年11月11日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 大竹 正章

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	中神 靖典	経 理 責任者	古川美栄
期 間	令和1年11月7日（水）～11月8日（金）			
視 察 ・ 研 修 等 先	●第81回全国都市問題会議 霧島市国分体育館 （〒899-4304 鹿児島県霧島市国分清水309） 宿泊地：かごしま第一ホテル鴨池店 （〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町18）			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	【講演等】 主テーマ：防災とコミュニティ			
視 察 先 等 面 会 者				

概要及び所見

● 1 日目

【基調講演】

志學館大学の原口教授より、南九州の地形と成り立ちについて説明があり、歴史的な資料の重要性を説かれた。自然災害の予防からは、その通りであり公文書館として保存するべしと結んだ。

【主報告】

中重霧島市長より、火山防災への取組み報告があった。つい先日も桜島が小噴火しており現実的な対応であり、情報の共有と自助共助の取組は対象が地震等へ変わっても十分に活用可能なのか議論が別れそうだが、避難指示のレベル分けは参考にはなる。

【一般報告】

田中教授、松井広島市長、火山研究推進センター長中田節也氏よりそれぞれ、コミュニティの機能と役割、広島豪雨の対応、火山災害について報告があった、中田センター長の『日本は300年以上火山の巨大噴火が起きていなく、これは異常事態』と言うのには驚いた、富士山クラスでも噴火はある。と常に想定すること。更には、日本の火山防災は、意思決定・防災・監視警報・調査研究・学術研究・行政機関これらが更にその下で細かく分業しており他国の状況と著しく違う状況に警告していた。最後にジオパークによる防災対策の有用性は長期的に防災意識を高めるメリットが理解しやすかった。

● 2 日目

【パネルディスカッション】

大手門学院大学の田中教授がコーディネーターで、パネリストは、専修大学大矢根教授・香川大磯打特命准教授・持留自治公民館長・豊岡三島市長・神出海南市長が並ぶ。コーディネーターの田中教授はボソボソ言う物言いで聞き取りにくく残念だった。大矢根教授は、自治会の活動を幅広く調査しており、防災訓練への取組みなどを紹介しながら、自治活動を困難にする理由に個人情報保護法を挙げた。法解釈で情報提供が可能としたが、災害時を想定してある23条は予防において活用可能としたが、無理がある。磯打准教授は地域全体の防災力向上のために、DCP（地域継続計画）の策定を挙げた。企業等の策定するBCPとDCPと地区防災計画との関連性を持った取組により全体の防災力強化が可能と事であるが、DCPの具体性が見えなかったもので、その後検索等で調べ

たが、BCPと同じようにしか見えなかった。あまり小分けするのはどうかと思う。地域自治会あたりまで策定支援するべしとしたが、大変な事務量が想定される。持留公民館長は、意欲的で能力がある人で、防災事業では年次 PDCA を回す。このような人がリーダーだと自治会において主体的な行動も進むだろうが、個に頼ると後が続かない。三島市長は避難所開設アクションシートを H30 年度に作成した A0 サイズのシートとレイアウトを掲示して共有して取り組む重要性を示した。また、三島市では防災対策の個別計画ごとのマニュアルが 82 件もあるそうで、内容が知りたい。神出海南市長は、ブロック塀撤去改善事業が大きく伸び、市民意識の向上に寄与しているとした。また、個別の防災訓練を『市民一斉訓練』と統一して、行政と自主防災会等が連携訓練までを進めているとの事、本市も同時に行うが連携は、報告のみで脆弱であり違う工夫も必要に感じた。以上が都市問題会議の所感である。テーマとして重要な課題ではあるが議論が深めにくく扱いには難しさがあったようだ。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 中神靖典	経理 責任者	古川美栄			
旅行期間	令和元年11月6日から 令和元年11月8日まで	2泊 3日	視察代表	村上 誠			
旅行先	鹿児島県霧島市 国分体育館 (〒899-4304 鹿児島県霧島市国分清水309)						
宿泊地	かごしま第一ホテル鴨池店 (〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新田18番地) ※旅行先近隣の宿泊施設の確保ができなかったため旅行先より遠方で確保						
視察・研修 等 目 的	第81回全国都市問題会議						
行 程	11月6日(水) 前泊 11月7日(木) 全国都市問題会議参加 11月8日(金) " 詳細は別紙のとおり						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		5	1	8	4	0
	車 賃			6	7	6	0
	航空賃						
	日 当			5	0	0	0
	宿泊料		2	4	0	0	0
	研修費		1	0	0	0	0
	合 計		9	7	6	0	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

行程

6日：三河田原駅 ^{渥美線} → 豊橋駅 ^{新幹線こだま} → 名古屋駅 ^{新幹線のぞみ} → 博多駅 ^{新幹線さくら} → 鹿児島中央駅 ^{徒歩} →

鹿児島中央駅バス停 ^{鹿児島市交通局バス} → 海づり公園前バス停 ^{徒歩} → ホテル

7日：ホテル ^{徒歩} → 海づり公園前バス停 ^{鹿児島市交通局バス} → 鹿児島中央駅バス停 ^{徒歩} → 鹿児島中央駅 ^{シャトルバス} →

会場 ^{シャトルバス} → 鹿児島中央駅 ^{徒歩} → 鹿児島中央駅バス停 ^{鹿児島市交通局バス} → 海釣り公園前バス停 ^{徒歩} → ホテル

8日：ホテル ^{徒歩} → 海づり公園前バス停 ^{鹿児島市交通局バス} → 鹿児島中央駅バス停 ^{徒歩} → 鹿児島中央駅 ^{シャトルバス} →

会場 ^{シャトルバス} → 鹿児島中央駅 ^{新幹線さくら} → 小倉駅 ^{新幹線のぞみ} → 名古屋駅 ^{新幹線こだま} → 豊橋駅 ^{渥美線} → 三河田原駅

経路 * 低料金飛行機チケット取得不可であったため、電車での移動とする。

6日

豊島駅 → 新豊橋駅(渥美線) 470円(電)

豊橋駅 → 名古屋駅(新幹線こだま指定席: 72.4km)
 名古屋駅 → 博多駅(新幹線のぞみ指定席 808.9km)
 博多駅 → 鹿児島中央駅(新幹線さくら指定席 288.9km) } 25,250円(電)

鹿児島中央駅バス停 → 海づり公園前バス停(鹿児島市交通局バス)190円(車)

7日

海づり公園前バス停 → 鹿児島中央駅バス停(鹿児島市交通局バス)190円(車)

鹿児島中央駅 → 国分体育館(シャトルバス) 1,500円(車)

国分体育館 → 鹿児島中央駅(シャトルバス) 1,500円(車)

鹿児島中央駅バス停 → 海づり公園前バス停(鹿児島市交通局バス)190円(車)

8日

海づり公園前バス停 → 鹿児島中央駅バス停(鹿児島市交通局バス)190円(車)

鹿児島中央駅 → 国分体育館(シャトルバス) 1,500円(車)

国分体育館 → 鹿児島中央駅(シャトルバス) 1,500円(車)

鹿児島中央駅 → 小倉駅(新幹線さくら指定席:356.1km)
 小倉駅 → 名古屋駅(新幹線のぞみ指定席 741.7km)
 名古屋駅 → 豊橋駅(新幹線こだま指定席 72.4km) } 25,650円(電)

新豊橋駅 → 豊島駅(渥美線) 470円(電)

日当(2,000円×2日、滞在1,000円×1日) 5,000円

宿泊費(12,000円×2日) 24,000円

研修費 10,000円

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

領収書金額	10000 円
-------	---------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

会議参加費領収書

村上 誠 様

金 10,000 円

但、「第81回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和元年 10月24日

第81回全国都市問題会議実行委員会

会長 中重 真誠

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書金額	6,000 円
-------	---------

有料シャトルバス代領収証別紙

領収書 貼付用 紙No.	村上 誠
--------------------	------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領 収 証

株式会社 JTB



登録番号

A No. 043197

株式会社JTB 鹿児島支店

〒892-0847 鹿児島県鹿児島市西千石町11-25

鹿児島フコク生命ビル5階

2019年 11月 28日



村上 誠 様

期間：2019年 11月06日～2019年 11月08日

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 6,000-

出納責任者	取扱者
●	●

但し 1/7, 1/8 有料シートバス代として

消費税率10%

2019/10/24 振込

ご入金内訳 (今回のご入金額)

※軽減税率対象

代金計 (①)	(税込)		うち消費税			
	単 価	利用数	金 額	摘 要		
(10%対象	¥		¥)		
(※ 8%対象	¥		¥)		
(8%対象	¥		¥)		
(対象外	¥		¥)		
日 付	項 目	単 価	利用数	金 額	摘 要	消費税率

収 入
印 紙

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

全国都市問題会議報告書

氏名 自由民主党田原市議団 村上 誠

会議日	令和元年 11 月 7 日 (木) ~8 日(金)
会場	鹿児島県霧島市国分体育館
会議目的	全国都市問題会議
《参考になった点》 11 月 7 日	
<p>『防災とコミュニティ』</p> <p>この日は、志学館大学原口教授の基調講演『鹿児島の歴史から学ぶ防災の知恵』から始まり防災の取組例を 4 例ほど聴講した。その中で興味をもったのが、「災害とコミュニティ」のタイトルで、地域から地域防災力強化への答を出すためにである。</p> <p>コミュニティやボランティア活動が注目されるようになったのは、阪神・淡路大震災以降。そして、公助・共助・自助のことばが一般化し災害に対し行政の限界が認識されることにもなった。</p> <p>また、災害時のコミュニティの働きの例として、「あなたの命が危険だから逃げて下さい」と呼びかけるよりも、「あなたが逃げないと声をかけてくれる人や周囲に迷惑がかかりますよ」の方が効果的だということ。つまり避難行動は、個人行動ではなく組織行動であることとして認識した。</p>	
《参考になった点》 11 月 8 日(金)	
<p>『防災とコミュニティ』</p> <p>この日は、午前中のみ。追手門学院大学田中教授のコーディネーターで 5 名のパネリストとのパネルディスカッションでした。</p> <p>この発表の中で、「活動・組織の掘り起こし」というテーマに興味をもちました。</p> <p>「防災は行政任せ」であったが、阪神淡路大震災では、コミュニティやボランティア活動が注目され、東日本大震災では「絆」がさげられた。こうした社会的なコミュニティ組織の高まりをどう取り組んでいくことが課題となってきている。</p> <p>その例として防災マップ。その中には、防災倉庫、消火栓、AED など設置場所は表記されてはいるが防災倉庫の鍵の所在や器材の使い方、消火栓・AED の使用方法等々。災害が発生した時多くの方々が知っておくべきことが不足している。地域独自の防災マップをコミュニティの行事を通じながら「地域防災マップ」を企画していく必要がある。</p> <p>また、災害時に個人情報保護法の適用については、第 23 条第 2 項に「人の生命、身体財産保護」のために必要である場合、本人の同意を得ることが困難であるとき」つまり災害時には適用されないと判断している。</p> <p>今回の会議に参加して、防災とコミュニティが災害を通じて必要不可欠になつていると感じたが、私自身コミュニティ役員経験者として改めてコミュニティを再認識した。</p>	

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 中神靖典	経理 責任者	古川美栄		
旅行期間	令和元年11月12日から 令和元年11月13日まで	1泊 2日	視察代表	大竹正章		
旅行先	11月13日(水) ・衆議院第二議員会館 (〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-1-2)					
宿泊地	マロウドイン赤坂 (〒107-0052 東京都港区赤坂 6-15-17)					
視察・研修 等目的	(11月12日) ・移動日 (11月13日) ・勉強会(杉田水脈氏)					
行程	11月12日(火) 新幹線 徒歩 名古屋駅発 → 東京駅 → ホテル (公務) 11月13日(水) 貸切バス ホテル → 衆議院第二議員会館 → 豊橋・湖西・田原市議会議長協議会要望活動へ (日当及び鉄道賃は公費支出)					
経路	旅 費					
宿泊(1泊×12,000円) 12,000円	鉄道賃					
・11月12日は移動日。(公務により名古屋発) ・11月13日は途中から豊橋・湖西・田原市議会議長協議会要望活動(公務)のため日当や鉄道賃は公費支出。	車賃					
	航空賃					
	日当					
	宿泊料		1	2	0	0
	研修費					
	合計		1	2	0	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
経路及び旅費については、事務局にて記入。

視察・研修等報告書

令和1年11月14日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 大竹 正章

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	中神 靖典	経理 責任者	古川美栄
期 間	令和1年11月12日（火）～13日（水）			
視察・研修 等先	<p>●杉田水脈代議士による講話と質疑応答 衆議院第二議員会館 会議室 （〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目1-2） 宿泊先：マロウドイン赤坂 〒107-0052 東京都港区赤坂6丁目15-17</p>			
視察・研修 等の目的				
視察先等 面会者	杉田水脈代議士			
概要及び所 見	<p>●講話と質疑応答 テーマは、少子化対策と子育てなどであった。 杉田代議士は、Twitterなどで時々炎上しており、発言の言葉尻を取られてメディアに叩かれることも多いが、やはり聞いていて強い信念を持っており発言も強いからだと思われる。考え方の違いで叩かれる日本のメディアには辟易とする。高崎順子氏の著書『フランスはどう少子化を克服したか』を紹介しながら、他国と我が国の状況を踏まえ複合的な課題に対して、それぞれへの解決策をいくつか提案している。代議士も自覚していたが、本来少子化対策は国によって進めるべきであるが、現実には地方公共団体がそれぞれのアイデアにより実施している。なにより、40年も前から少子化が進行しているのに有効な手立てが無かった事には驚いた。対策の一つに婚外子への対応充実、離婚者が多いが6割以上養育費</p>			

の支払いが滞っており貧困家庭を生む大きな原因である。対応を他国では国が行う例もあり、重要な視点だと思われる。なぜ法制化しないのかを質問がしたかったが、順番が回らなかった。ちなみに兵庫県明石市は来年四月の民法改正に合わせて条例化を検討している。氏名の公表制度まで視野に入れており賛否が分かれる。やはり、出産のインセンティブは重要なポイントであり国の本気度が試される。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 中神靖典	経理 責任者	古川美栄			
旅行期間	令和2年2月16日	1日	視察代表	大竹正章			
旅行先	imy ホール (〒461-0004 名古屋市東区葵3-7-14)						
宿泊地	.						
視察・研修 等 目 的	これからの医療とまちづくりシンポジウム 心身共に健康なまちづくり ～持続可能な健康・医療システムと統合医療によるまちづくりに向けて～						
行 程	渥美線 JR東海道線 JR中央線 徒歩 やぐま台駅 ⇄ 豊橋駅 ⇄ 金山駅 ⇄ 千種駅 ⇄ 会場						
経路	旅 費						
やぐま台⇄新豊橋 840円(420円×2) (渥美線往復)	鉄道賃			2	7	4	0
豊橋⇄千種 (JR往復カルテットきっぷ) 1,900円	車 賃						
日 当 1,000円×1日	航空賃						
研修費 2,000円	船 賃						
	日 当			1	0	0	0
	宿泊料						
	研修費			2	0	0	0
	合 計			5	7	4	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
経路及び旅費については、事務局にて記入。

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

領収書金額	2,000 円
-------	---------

1	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領収証

No.	054005	836911
-----	--------	--------

2 年 2 月 10 日

大竹正章 様

金額	千	百	十	万	千	百	十	円
				4	2	0	0	0

但し シンポジウムチケット代

上記の金額正に領収いたしました

一般社団法人 MOAインターナショナル

〒413-0011 静岡県熱海市田原本町9番1号
電話(0557)84-2110(代表) FAX(0557)84-2460

※取扱者印のないものは無効です



取扱者印

視察・研修等報告書

令和2年2月17日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 大竹 正章

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	中神 靖典	経理 責任者	古川美栄
期 間	令和2年2月16日(日)			
視察・研修 等先	<p style="text-align: center;">●これからの医療とまちづくりシンポジウム (〒461-0004 名古屋市東区葵3丁目7-14) 会場：IMYホール 5F第3会議室</p>			
視察・研修 等の目的				
視察先等 面会者				
概要及び所見	<p>●基調講演 長野県阿南町富草へき地診療所長の金先生からは、医療従事者の過酷な勤務状況(過去の経験)とへき地の地域医療に従事してからの、現場の声を中心に伺った。高齢者への診療は、主にケアを中心となり在宅を可能な限り実現できるよう、過剰な診療にならないことが大切であり、医療費を抑制しつつ、満足度の高いケアを目指しているとの事。終わりに瞑想を行ったが、会場が満席で窮屈なもので集中できなかった。続いて、エムオーエー名古屋クリニック院長の柴先生から統合医療のモデル別説明(医療モデル・社会モデル)があり、統合医療推進議員連盟の各省庁への要求内容について報告があった。全体として目指す姿がおぼろげに理解できるが、具体性に乏しく疑問が残る。事実、議連の会長である名古屋市議会議員も説明に苦心している旨を披露した。医療という言葉より、療養という切り口の方が適していると感じる。</p>			

講演後「輪り花」というグループで順番に生け花をする体験を行った。花を選び、活けるという行為は単純ではあるが、感じるものはあった。続いて岩倉市岩倉東小学校長の三浦先生の講演では、学校で茶道、華道を取り入れ心の教育をして、成果を上げているとの紹介があった。もう少し具体的な成果を伺いたかったがあえて聞くのは酷に思え、聞くことはしなかった。続いて参加者によるパネルディスカッションを予防医療等の意見交換があり、それを各グループで議論するシェアリングを行い。私は統合医療の全体像及び具体性が見えないこと、地域を取巻く（田原市）医療環境の厳しさを伝えた。ぜひ質疑応答でぶつけて欲しいとの声があり、続く質疑応答で報告した。柴先生らは明確なものがなく、悩んでいると吐露したが、主催者を代表して鈴木理事長から『これからはキュアではなくてケアを充実させる、そのためのロールモデルを作るため今は色々な取り組みを充実させている』というような説明があった納得できるところもあり、今後注目して行こうと思う。

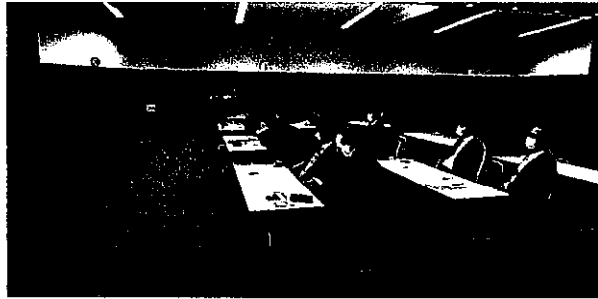
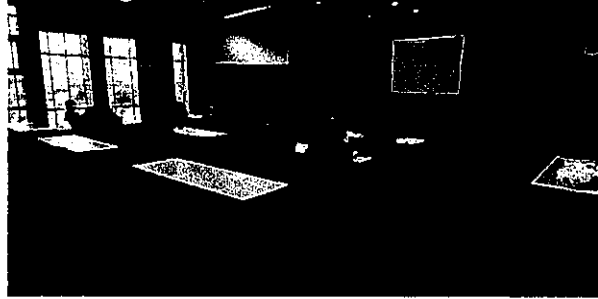
視察・研修等報告書

令和2年3月30日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
 議員名 中神 靖典他10名

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	中神 靖典	経理 責任者	古川美栄
期 間	令和2年3月30日（月）14時～17時まで			
研 修 内 容 及 び 場 所	●会派主催研修会 ファシリテーション基礎編 会場：田原市役所南庁舎6階講堂			
講 師	コンティニュー株式会社 代表 大山 裕之			
視 察 先 等 面 会 者				
概要及び所見	●参加者全員のアンケートと当日資料、写真を添付  			

政務活動費領収書等貼付用紙

(領収書は重ならないように貼付)

領収書 貼付用 紙No.	
--------------------	--

領収書金額	114,660円
-------	----------

①	研究研修費
2	調査旅費
3	広報費
4	広聴費
5	要請・陳情活動費
6	会議費
7	資料作成費
8	資料購入費
9	事務費
10	その他の経費

領 収 書

自由民主党田原市議団

御中

No.200301

発行日 2020年3月30日

金額

¥114,660

(税込)

但 ファシリテーション研修講師料

上記正に領収いたしました。



内訳

税抜金額 _____

消費税等 _____

コンティニュー株式会社

〒4650092

愛知県名古屋市名東区社台3-192-10

TEL 052-771-6487



令和2年度 ファシリテーション研修会

令和2年3月30日実施アンケーターまとめ
自由民主党 田原市議員

名前	解りやすさ	有益であると感じた	話し方、言葉遣い説明	気づきや啓発について	講師について	その他ご意見等
鈴木 和基	8	8	9	人は安全、安心な「場」でないと思えない。特に自分の事を認めてくれないと感じた場合、言っても無駄という思いが更に強くなる。今までそういう「場」に多く身を置いたが、その度に疑問を抱いた。今後その役割を任せられた際、いかに意見を多く引出し、そこからの合意形成を目指すよう意識したい	非常に身近に感じる人柄で良かった。大前研一さんによって、まだまだ面白い話が聞けそうな感じがした	
村上 誠	8	8	8	理解している内容もあったが改めて説明を受け再認識した	議員に対して、少し遠慮があった気がした	機会があれば、継続してほしい
長神 隆士	7	7	7	人間力＝自分力ではないか、これを高めること（価値観）の大切さを学ばせて頂いた	優しい言葉遣いで良かった	以前、一度研修を行った時と違い、今回は身近に感じて色々なテーマでファシリテーションが活用できると感じた
中神 靖典	8	8	8	難しいことを分かり易く、例を挙げて、理解しやすい説明で良かった。ファシリテーターは大変な役割であると感じた	ソフトな口調で分かり易い	今回の研修をこれからの議員活動の中で少しでも活かしていきたい
岡本 祐絵	8	5	9	ファシリテーターの役割は大変、価値観とか信念の違いを人をもとめるのは、難しいと思う	聴きやすい口調であった	KJ法は、何回もやっているが、今度はファシリテーターをやってみたい
古川 美栄	8	9	9	みんなの意見を出してもらい、みんなで意思決定するには、みんなの意見を相互理解する必要がある	よくわかる内容であった、参考になります	様々な価値観を持つ人同士が協働していけるよう活動したい
仲谷 政弘	7	7	7	自由に意見を言う場作りを意識して進める ・皆の意見をまとめて進める事が大事である	分かり易い研修であった	ファシリテーターの基本的な進め方が参考になった
森下田嘉治	7	7	8	対立した話し合いは、第三案にまとめることがある	言葉遣いが早口で聞きにくい所があった	ファシリテーションの意味が大体理解できた
大竹 正章	9	10	10	「人間力」がベースなのは大いに納得 ・感情と無意識で多くの行動を支配される点に注目 ・己を知り、他者との違いから新たな意見を導く役割の大切さを理解した	・理論立て、話し方は極めて秀逸だった ・能力の高さは相当なもの	・恐らく実践を重ねる度に対応力が求められケースに合わせたツールもあると思う ・定期的に指導を受けブラッシュアップするべき
内藤 浩	8	8	8	「場」づくりの重要さは営業でも同じ、人の意見を聴くには、まず自分を飾らないことが重要、そして「人間力」の向上	同世代でいろいろな体験をしている方なので色々な対応ができる方だと感じた	人の意見を聴くこと、先入観を持たないこと、周りをよく見ることが大切だと思った
平均スコア	7.80	7.70	8.30			

令和2年度 ファシリテーション研修会

合計/解りやすさ 合計/有益であると感じた 合計/話し方、言葉遣い説明

